

# 岸和田市民における芸術分野の取組みに関する アンケート調査 集計結果

## 1 アンケート調査の概要

### ① 調査目的

平成27(2015)年9月に策定した「文化 花 咲かそう推進プラン-岸和田市文化振興計画-」が終期を迎えるにあたり、岸和田市民の文化活動の現状や意識を把握し、次期計画の策定に活かしていくために実施しました。

### ② 実施方法

岸和田市に住民登録のある16歳以上の男女の中から無作為で1,580人を抽出し、調査票を配布、郵送にて回収。

令和4(2022)年8月1日～8月31日を調査期間とし、10月14日回収分をもって締め切り。

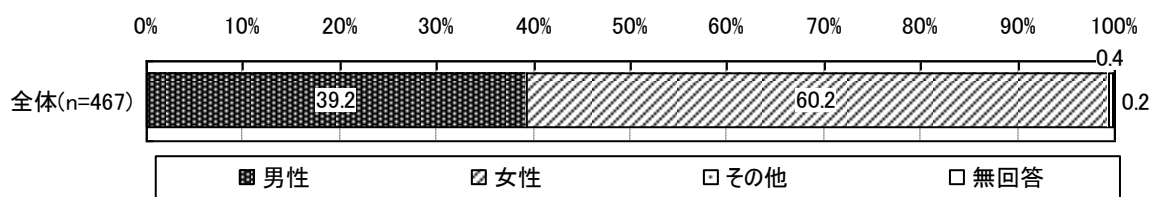
### ③ 回収状況

調査対象	配布数	回答数	回答率
16歳以上の岸和田市民	1,580	467	29.6%

## 2 集計結果

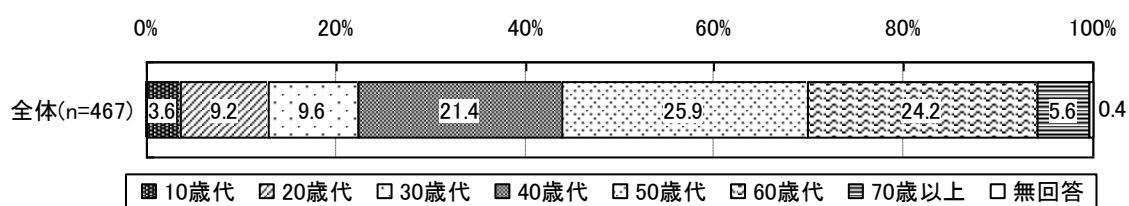
問1 あなたについてあてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

### 《性別》



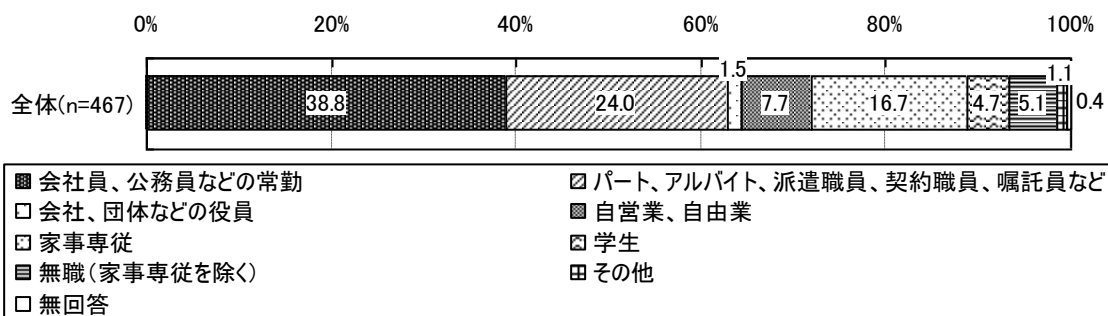
○回答者の性別は「女性」が60.2%、「男性」が39.2%、「その他」が0.4%となっています。

### 《年齢》



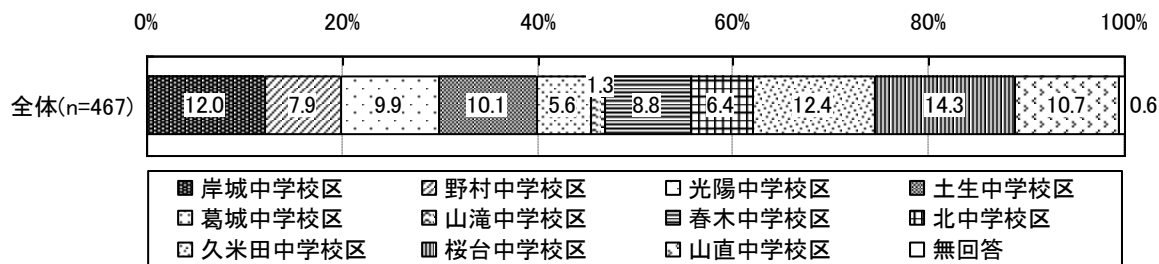
○回答者の年齢は「50歳代」が25.9%と最も多く、次いで「60歳代」が24.2%、「40歳代」が21.4%となっています。

### 《職業》



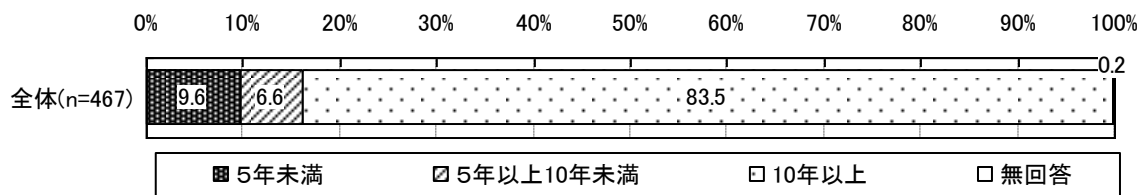
○回答者の職業は「会社員、公務員などの常勤」が38.8%と最も多く、次いで「パート、アルバイト、派遣職員、契約職員、嘱託員など」が24.0%、「家事専従」が16.7%などとなっています。

### 《居住地（中学校区）》



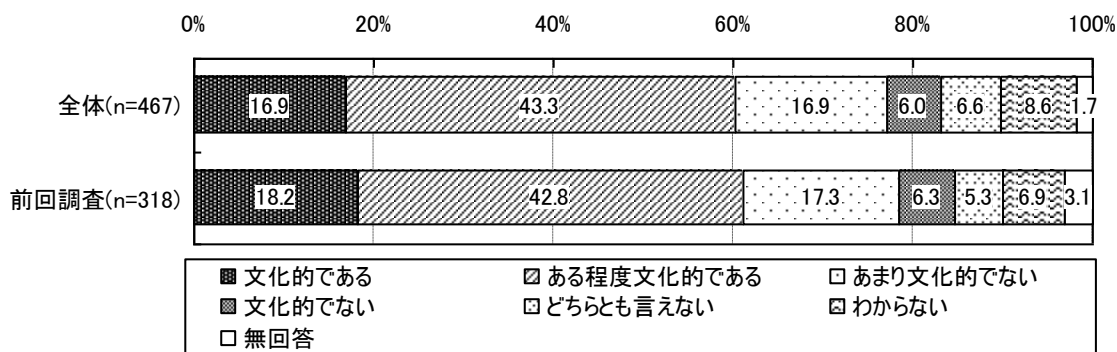
○回答者の居住地は若干のばらつきはありますが、概ね各校区1割前後となっています。

### 《居住年数》



○回答者の居住年数は「10年以上」が83.5%を占めています。

### 問2 岸和田市は文化的なまちだと思いますか。(○はひとつだけ)

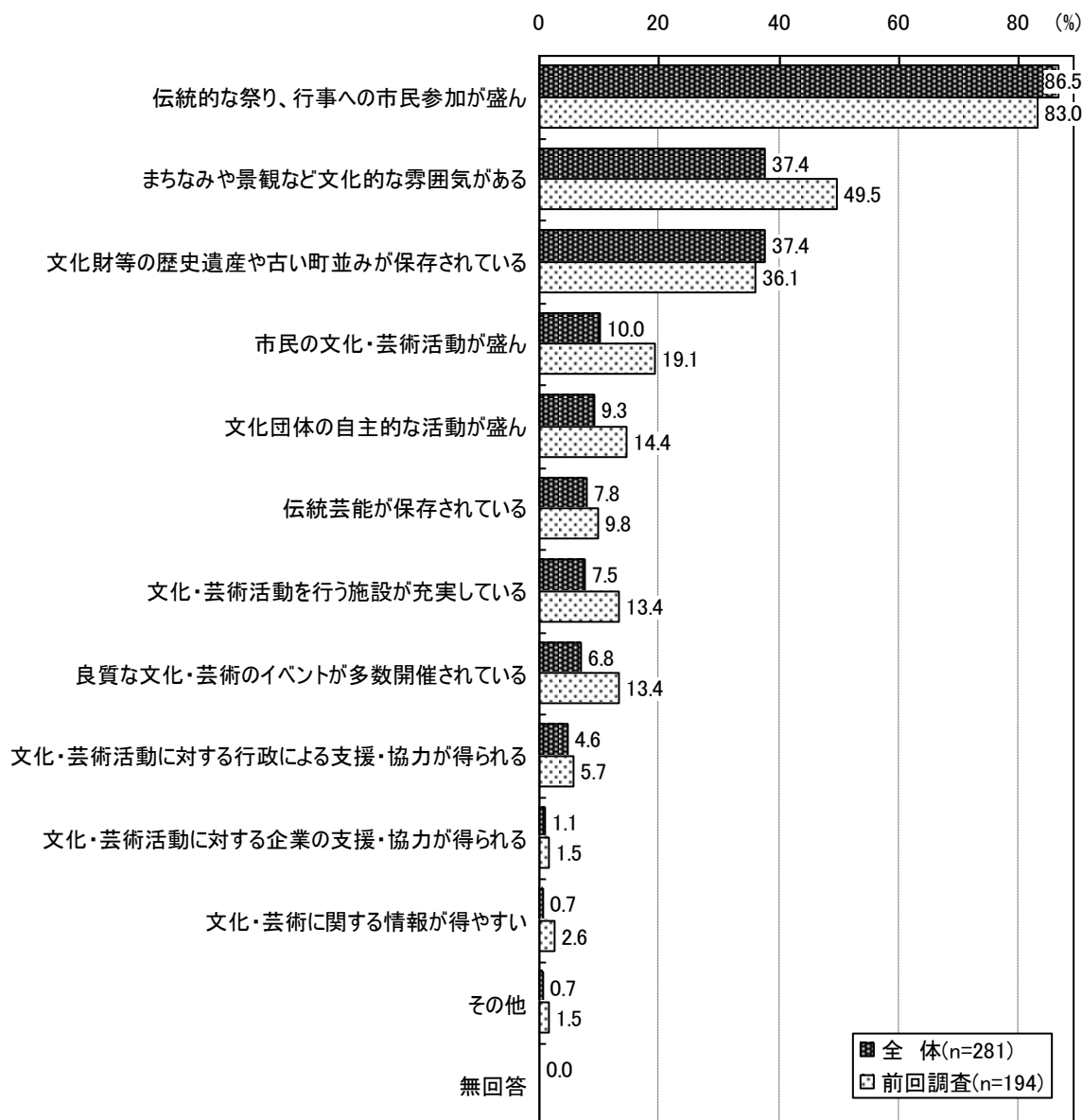


○岸和田市について「文化的である」「ある程度文化的である」と答えた人を合計すると、60.2%の人が文化的なまちだと回答しています。

○前回調査と比較すると、61.0%の人が文化的なまちだと回答していたものから0.8ポイント減少しています。

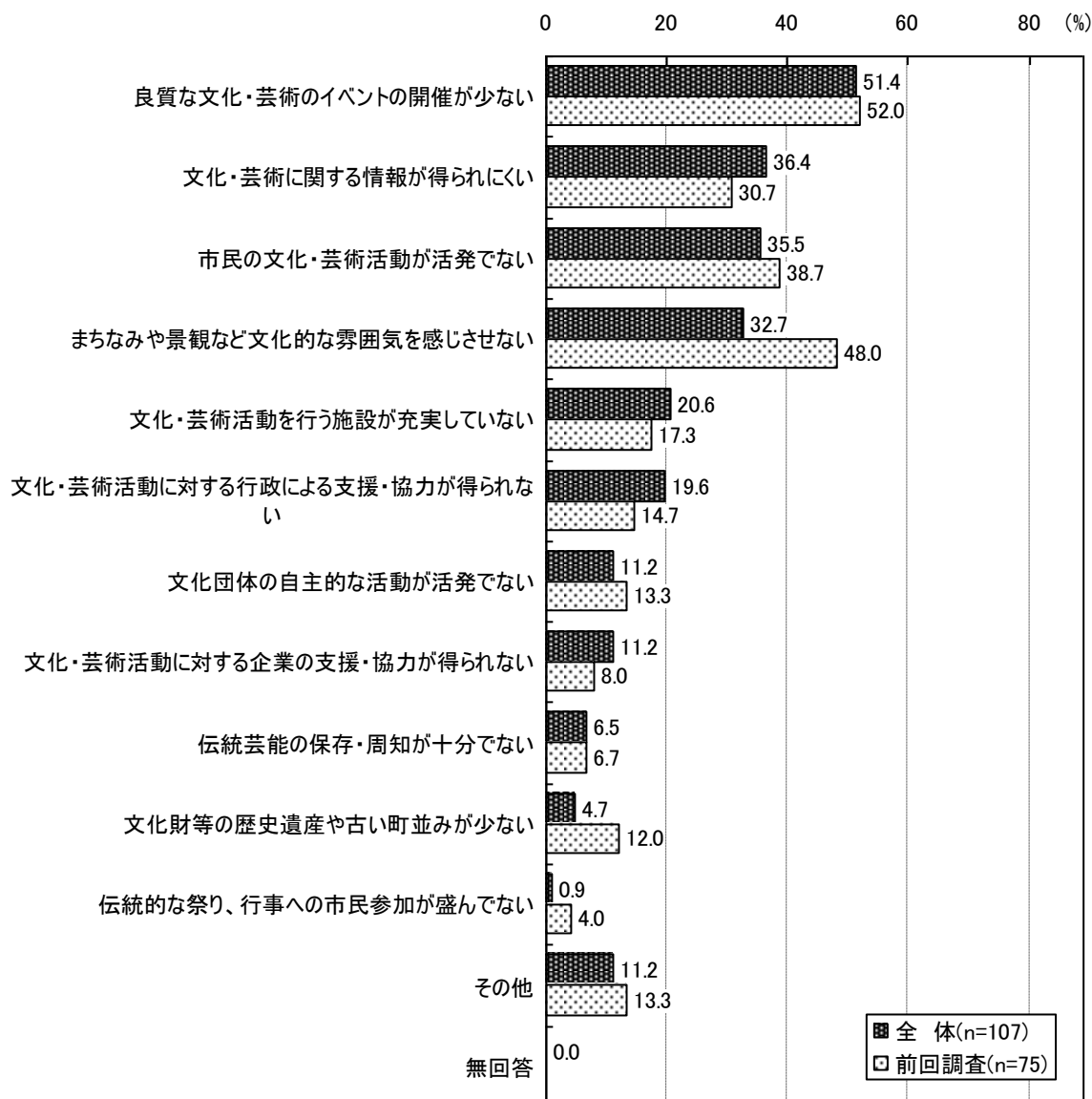
◎年齢別でみると、10～30歳代で「ある程度文化的である」が55.2%と多くなっています。一方、60歳以上では「あまり文化的でない」が27.3%と多くなる結果となっています。

問2-1 文化的であると思う理由はどうしてですか。(〇は3つまで)



- 文化的であると思う理由について、「伝統的な祭り、行事への市民参加が盛ん」という人が86.5%と最も多く、次いで「まちなみや景観など文化的な雰囲気がある」「文化財等の歴史遺産や古い町並みが保存されている」が37.4%などと続いています。
- 前回調査と比較すると、「伝統的な祭り、行事への市民参加が盛ん」と「文化財等の歴史遺産や古い町並みが保存されている」以外の項目において大きく減少する結果となっています。
- 年齢別でみると、60歳以上で「文化団体の自主的な活動が盛ん」が20.8%と多くなっています。

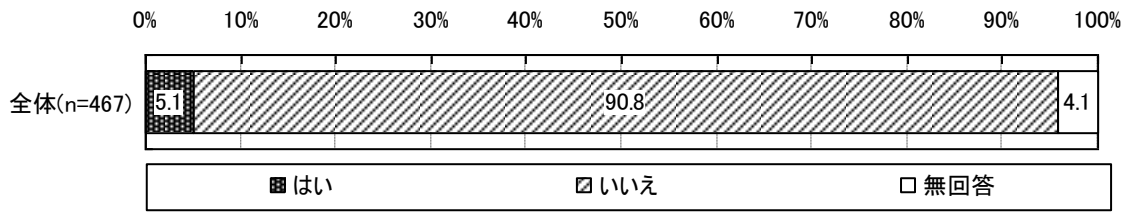
問2-2 文化的ではないと思う理由はどうしてですか。(〇は3つまで)



○文化的ではないと思う理由について、「良質な文化・芸術のイベントの開催が少ない」という人が51.4%と最も多く、次いで「文化・芸術に関する情報が得られにくい」が36.4%などと続いています。

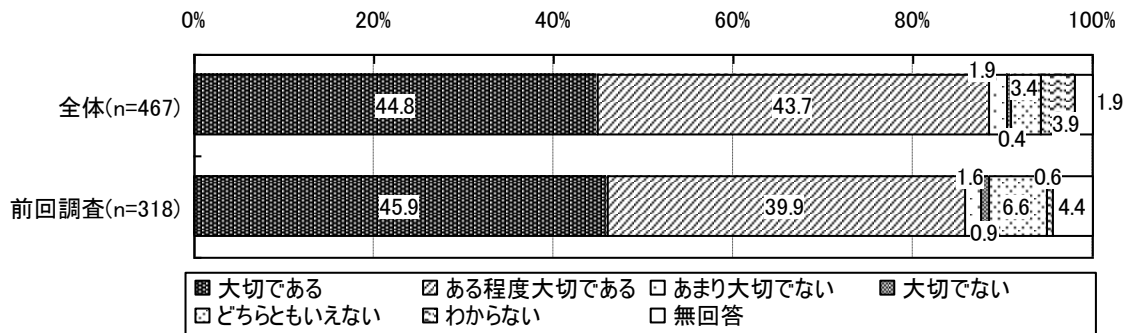
○前回調査と比較すると、「まちなみや景観など文化的な雰囲気を感じさせない」が大きく減少する一方で、「文化・芸術に関する情報が得られにくい」や「文化・芸術活動に対する行政による支援・協力が得られない」などの項目において増加する結果となっています。

**問3 平成27(2015)年度に策定された「文化 花 咲かそう推進プラン-岸和田市文化振興計画-」をご存じですか。(〇はひとつだけ)**



○「いいえ」と答えた人が90.8%を占めています。

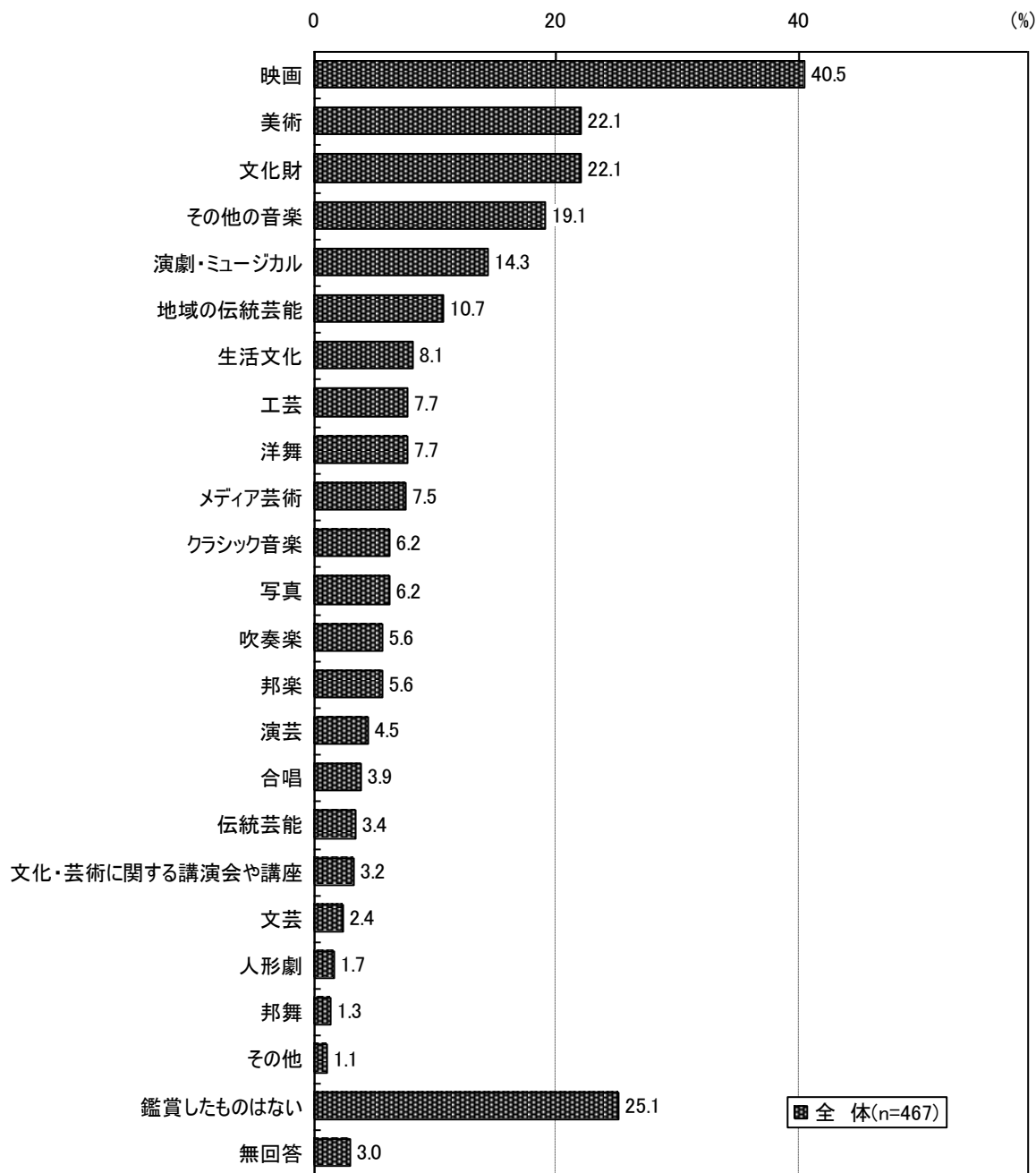
**問4 日常生活の中で文化・芸術の鑑賞をしたり、ご自身で創造する活動を行うなど文化に触れることは、大切なことだと思いますか。(〇はひとつだけ)**



○文化に触れることについて「大切である」「ある程度大切である」と答えた人を合計すると、88.5%の人が大切であると回答しています。

○前回調査と比較すると、合計で大切だと回答した人は85.8%であり、2.7ポイント増加しています。

問5 過去1年間に、公演や映画、美術作品などの文化・芸術を直接鑑賞されたものがありますか。(〇はいくつでも。ただし自宅での鑑賞は含みません。)

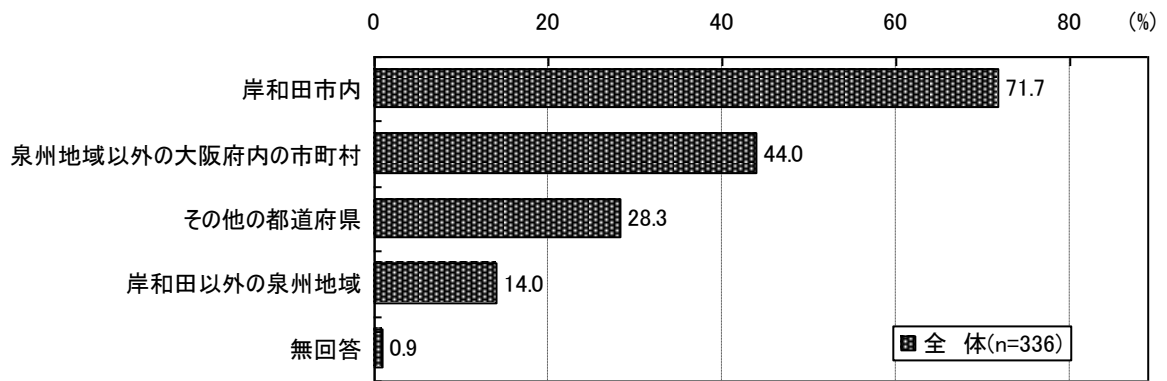


○過去1年間に直接鑑賞したものについて、「映画」が40.5%と最も多く、次いで「美術」「文化財」が22.1%、「その他音楽」19.1%などと続いています。

◎性別にみると、男性では「演劇・ミュージカル」が3.8%と少なくなっています。

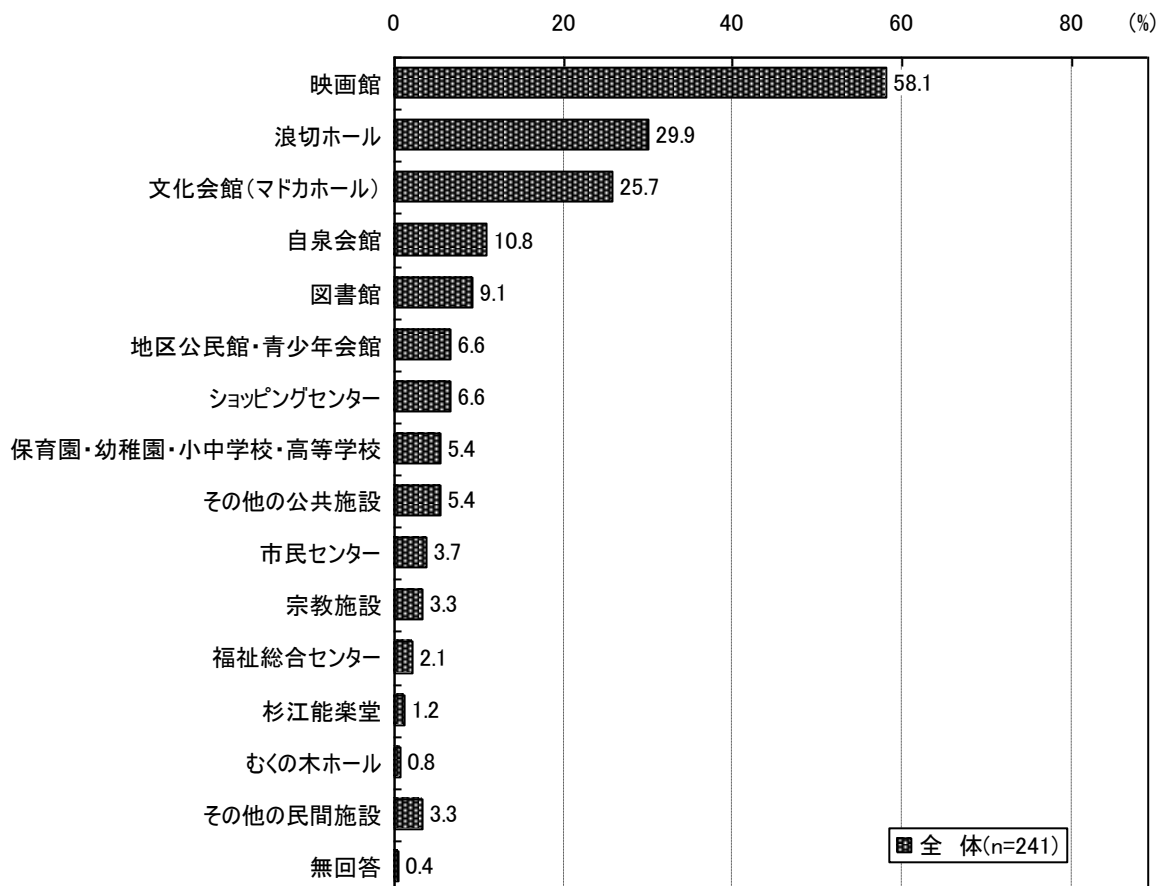
◎年齢別にみると、10～30歳代では「映画」が60.0%と多くなる一方、60歳以上では28.1%と少なくなっています。

問6 過去1年間、文化・芸術の鑑賞を主にどこで行いましたか。(〇はいくつでも)



○「岸和田市内」と答えた人が71.7%と最も多く、次いで「泉州地域以外の大阪府内の市町村」が44.0%となっています。

問6-1 過去1年間、岸和田市内の施設で文化・芸術を鑑賞されたことのある施設はどこですか。(〇はいくつでも)

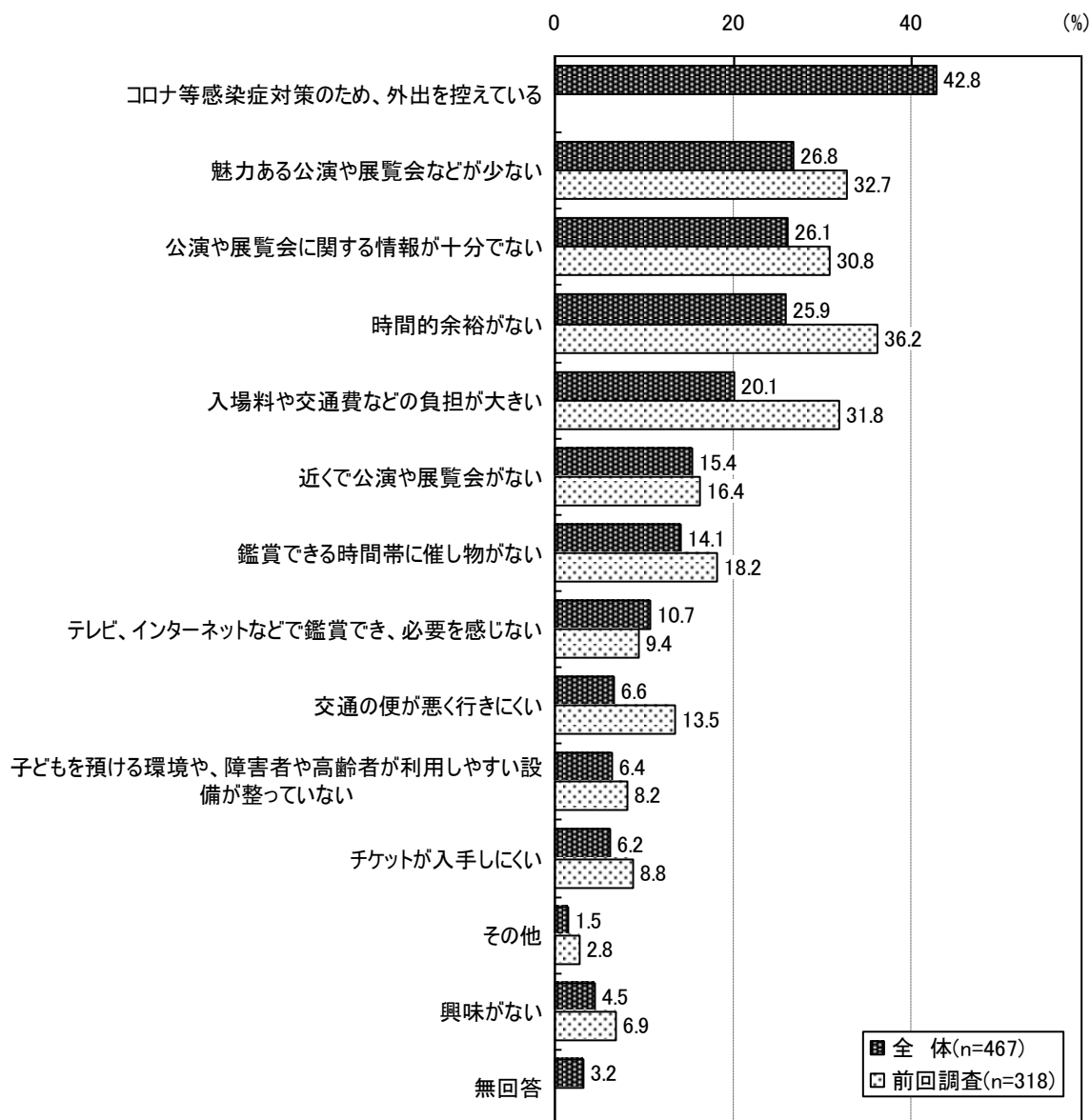


○文化・芸術を鑑賞した施設について、「映画館」が58.1%と最も多く、次いで「浪切ホール」が29.9%、「文化会館(マドカホール)」が25.7%などと続いています。

◎年齢別にみると、10～30歳代では「映画館」が75.9%と多くなっています。60歳以上では「浪切ホール」が42.3%と多くなっています。



問7 文化・芸術の鑑賞において、鑑賞の支障となるものは何だと思えますか。(〇は3つまで)

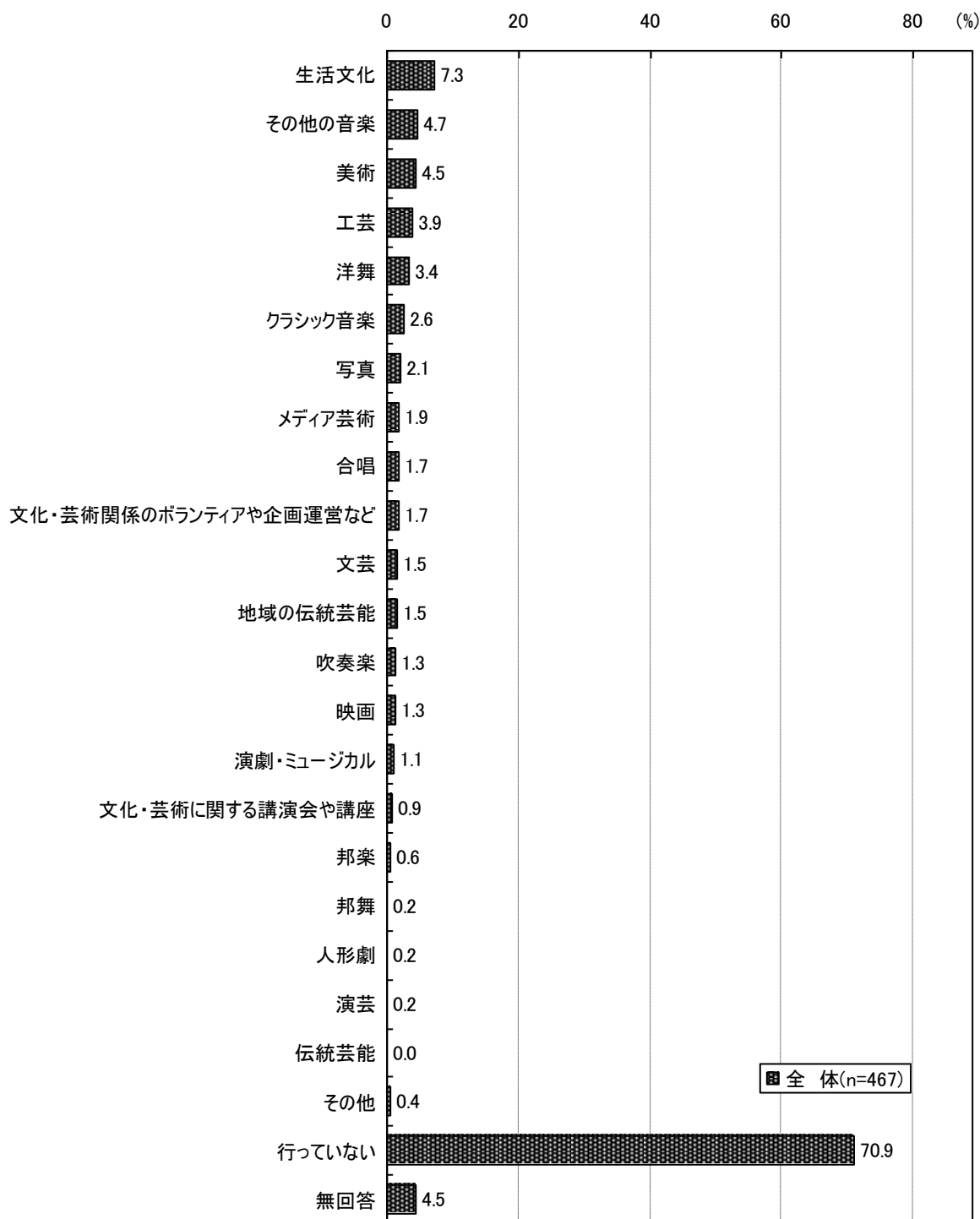


○鑑賞の支障となるものについて、「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」が42.8%と最も多く、次いで「魅力ある公演や展覧会などが少ない」が26.8%、「公演や展覧会に関する情報が十分でない」26.1%、「時間的余裕がない」が25.9%などと続いています。

○前回調査と比較すると、今回追加された項目「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」を除くと、「テレビ、インターネットなどで鑑賞でき、必要を感じない」が増加しており、それ以外の項目では大きく減少する結果となっています。

◎年齢別にみると、10～30歳代では「時間的余裕がない」が32.4%と多くなっています。60歳以上では「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」が50.4%と多くなっています。

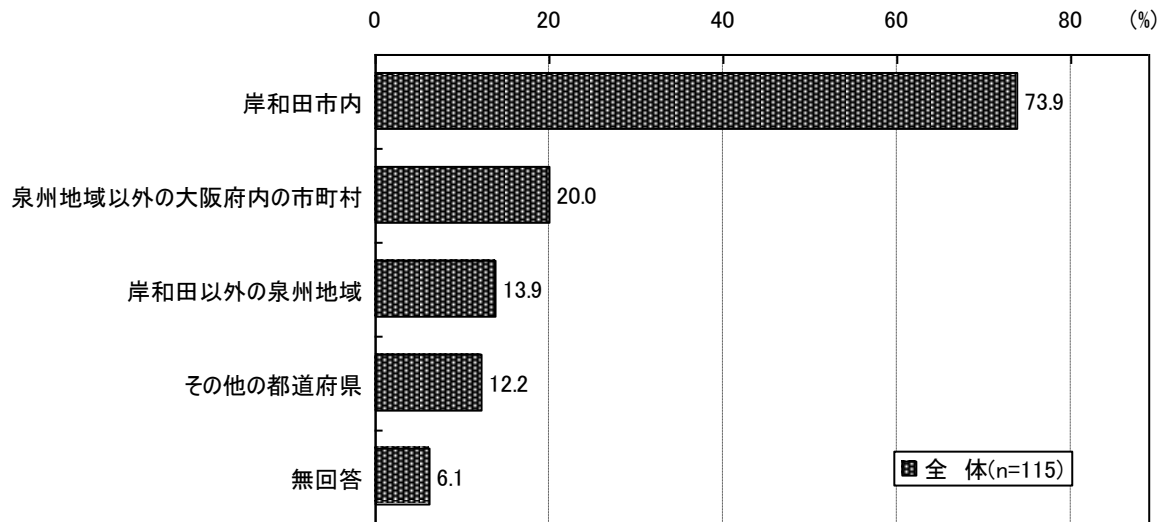
問8 過去1年間に、演奏や演じる、創作するという文化・芸術の創造活動を行ったものがありますか。(〇はいくつでも)



○過去1年間に行った創造活動について、「行っていない」の70.9%を除くと、「生活文化」が7.3%、「その他音楽」が4.7%、「美術」が4.5%などとなっています。

◎性別にみると、男性では「行っていない」が81.4%と多くなっています。

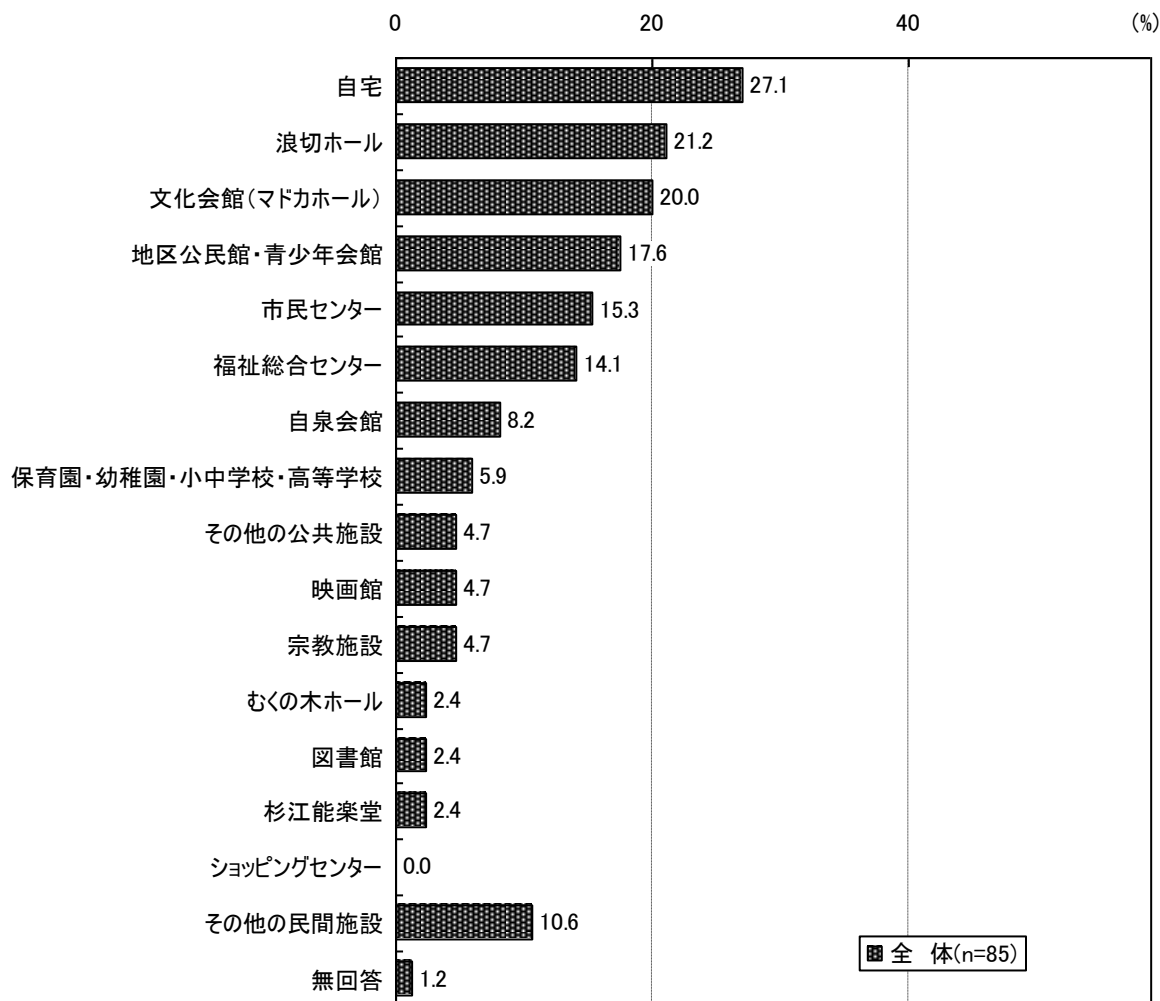
問9 過去1年間、文化・芸術の創造活動（発表を除く。）を主にどこで行いましたか。（〇はいくつでも）



○「岸和田市内」と答えた人が73.9%と最も多く、次いで「泉州地域以外の大阪府内の市町村」が20.0%となっています。

◎年齢別にみると、60歳以上では「岸和田市内」が84.4%と多くなっています。

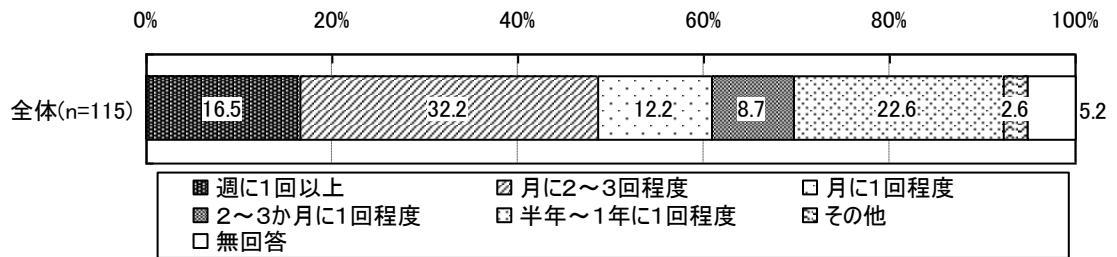
問9-1 岸和田市内で文化・芸術の創造活動（発表を除く。）を行っている施設はどこですか。  
 (〇はいくつでも)



○創造活動を行っている施設について、「自宅」が27.1%と最も多く、次いで「浪切ホール」が21.1%、「文化会館（マドカホール）」が20.0%などとなっています。

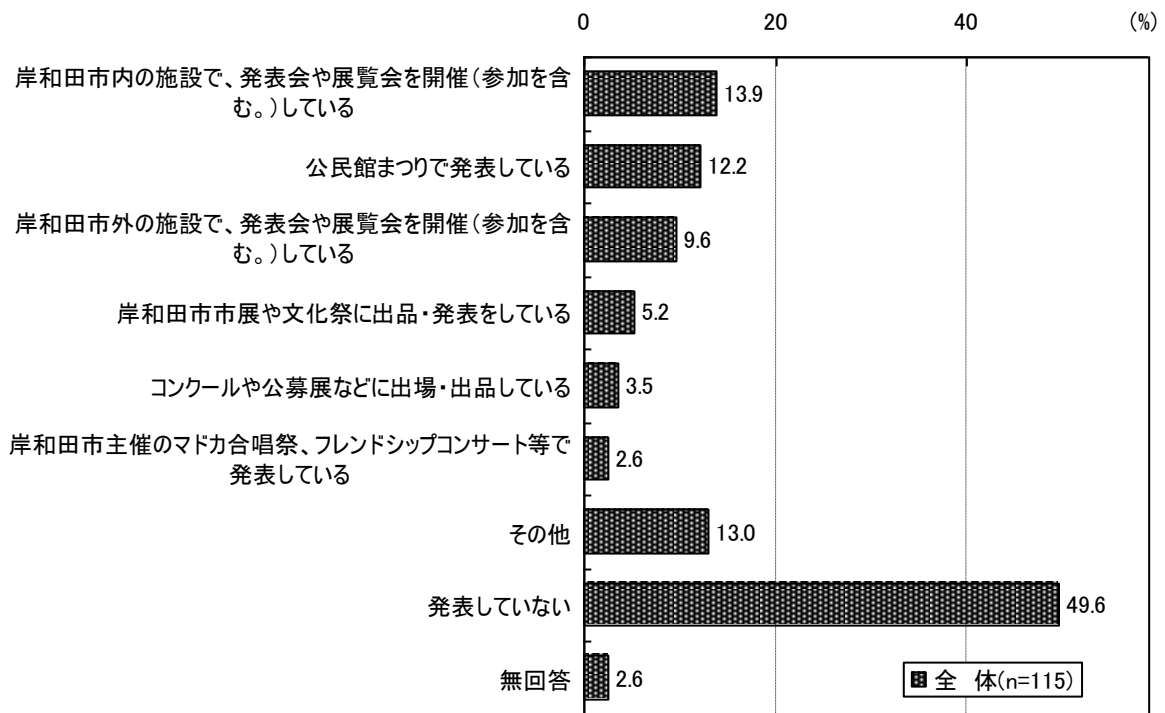
◎年齢別にみると、10～30歳代では「自宅」が73.3%と多くなっています。60歳以上では「福祉総合センター」「地区公民館・青少年会館」が31.6%、「市民センター」が28.9%と多くなっています。

問10 どの程度の頻度で、文化・芸術の創造活動（発表を除く。）を行っていますか。（〇はひとつだけ）



○創造活動の頻度について、「月に2～3回程度」が32.2%と最も多く、次いで「半年～1年に1回程度」が22.6%となっています。

問11 ご自身の文化・芸術の創造活動の発表をどのように行っていますか。（〇はいくつでも）

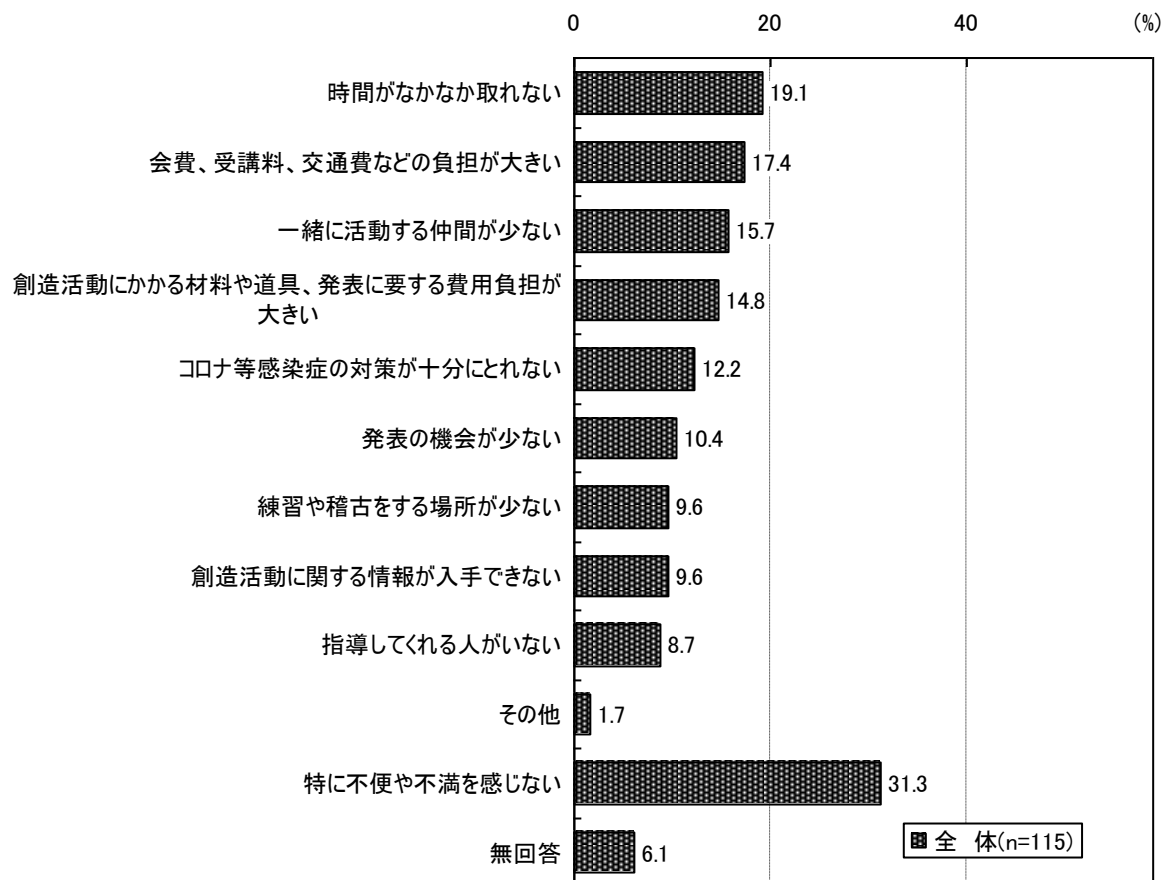


○創造活動の発表について、「発表していない」「その他」を除くと、「岸和田市内の施設で、発表会や展覧会を開催（参加を含む。）している」が13.9%と最も多く、次いで「公民館まつりで発表している」が12.2%などとなっています。

◎性別に見ると、男性では「発表していない」が65.4%と多くなっています。

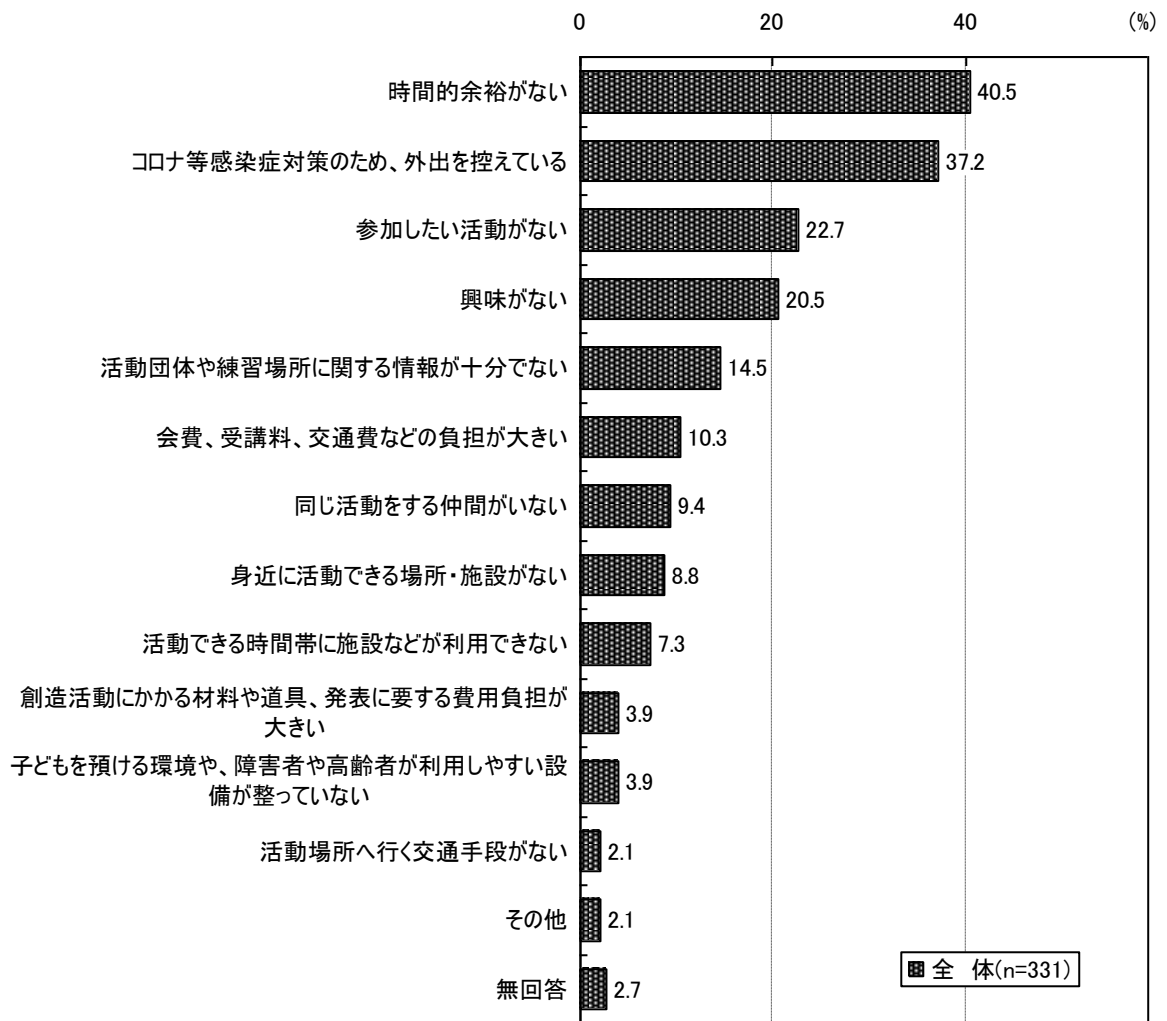
◎年齢別にみると、10～30歳代では「その他」が23.1%、40・50歳代では「発表していない」が65.1%、60歳以上では「公民館まつりで発表している」が26.7%と多くなっています。

問12 文化・芸術の創造活動や発表を行う上で、不便や不満を感じることがありますか。(〇はいくつでも)



- 創造活動や発表を行う上で不便なことについて、「特に不便や不満を感じない」を除くと、「時間がなかなか取れない」が19.1%と最も多く、次いで「会費、受講料、交通費などの負担が大きい」が17.4%、「一緒に活動する仲間が少ない」が15.7%などとなっています。
- ◎性別にみると、男性では「一緒に活動する仲間が少ない」が34.6%と多くなっています。
- ◎年齢別にみると、10～30歳代では「特に不便や不満を感じない」が46.2%、「時間がなかなか取れない」が30.8%と多くなっています。

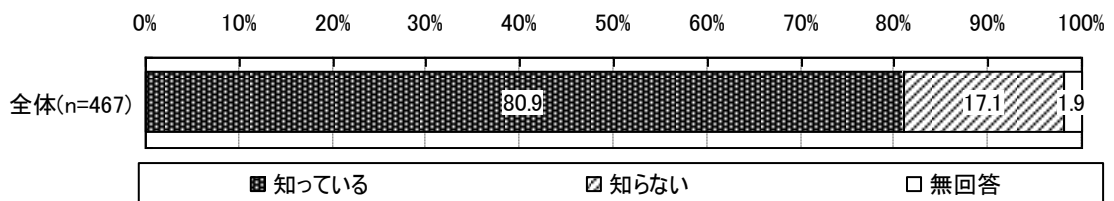
問13 文化・芸術の創造活動を行っていない理由は何ですか。(〇は3つまで)



○創造活動を行っていない理由について、「時間的余裕がない」が40.5%と最も多く、次いで「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」が37.2%、「参加したい活動がない」が22.7%などとなっています。

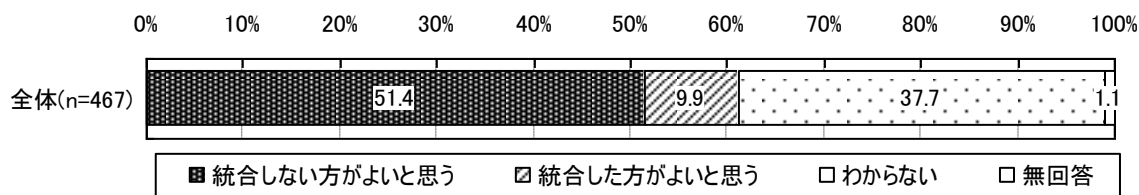
◎年齢別にみると、10～30歳代では「興味がない」が33.8%と多くなっています。60歳以上では「コロナ等感染症対策のため、外出を控えている」が47.6%と多くなっています。

問14 岸和田市には公共の文化施設が3館（マドカホール・浪切ホール・自泉会館）あることをご存じですか。



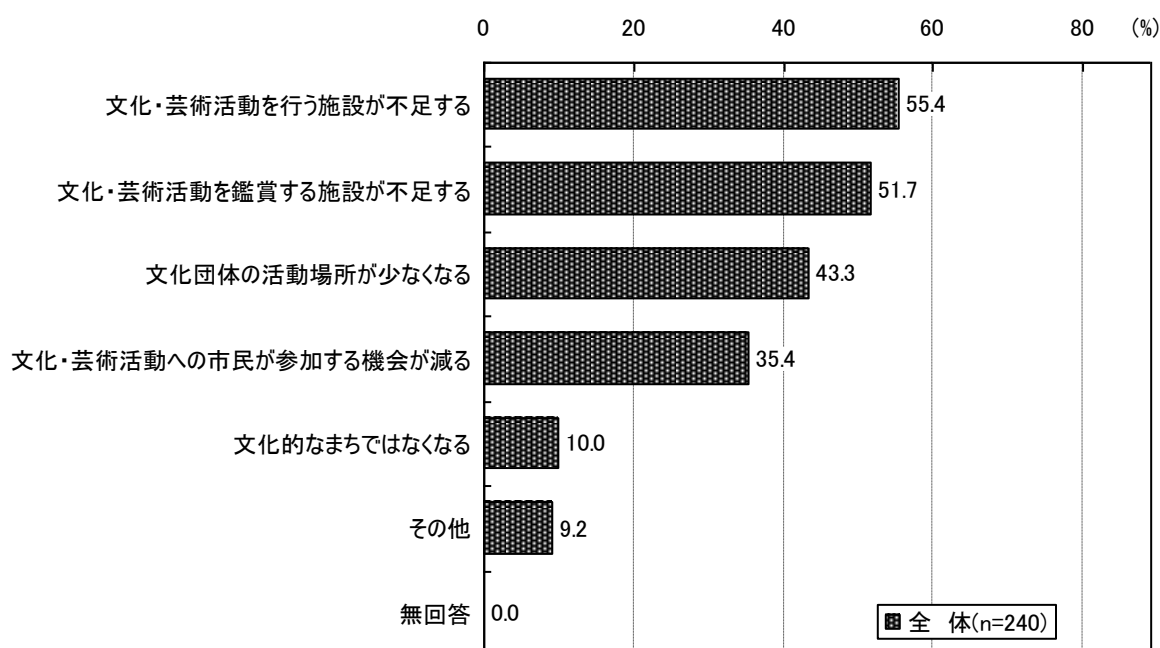
○「知っている」と答えた人が80.9%を占めています。

問15 この3館を統合した方がよいと思いますか。(〇はひとつだけ)



○文化施設3館について、「統合しない方がよいと思う」が51.4%と最も多く、次いで「わからない」が37.7%、「統合した方がよいと思う」が9.9%となっています。

問15-1 統合しない方がよいと思う理由はどうしてですか。(〇は3つまで)

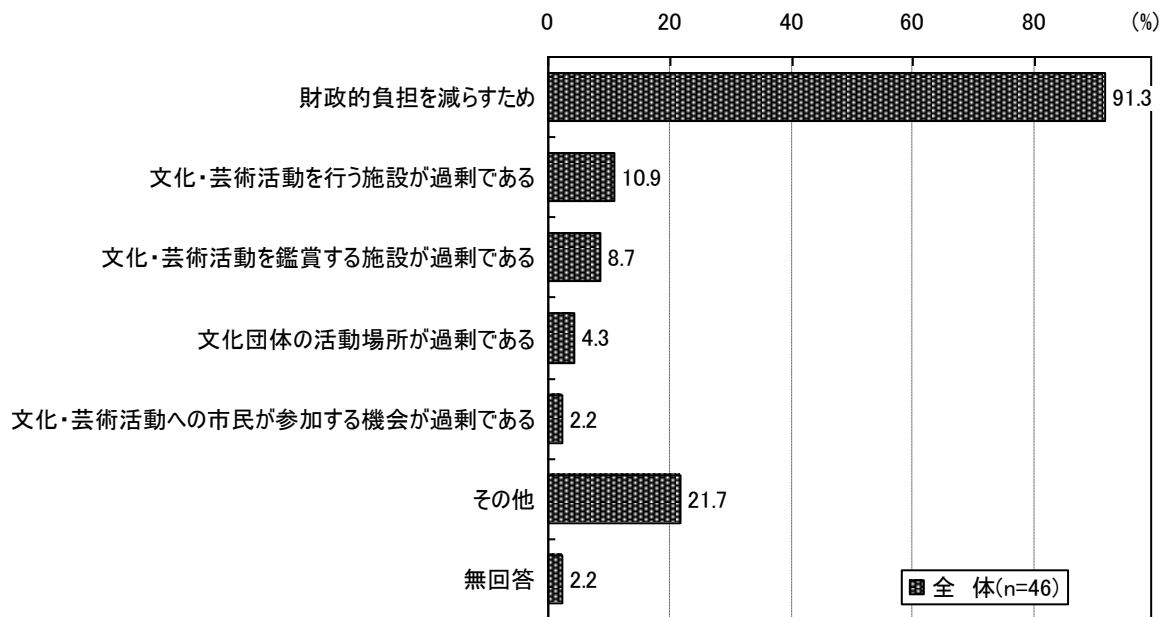


○統合しない方がよいと思う理由について、「文化・芸術活動を行う施設が不足する」が55.4%と最も多く、次いで「文化・芸術活動を鑑賞する施設が不足する」が51.7%、「文化団体の活動場所が少なくなる」が43.3%などとなっています。

◎年齢別にみると、10～30歳代では「文化団体の活動場所が少なくなる」が59.2%と多くなっています。

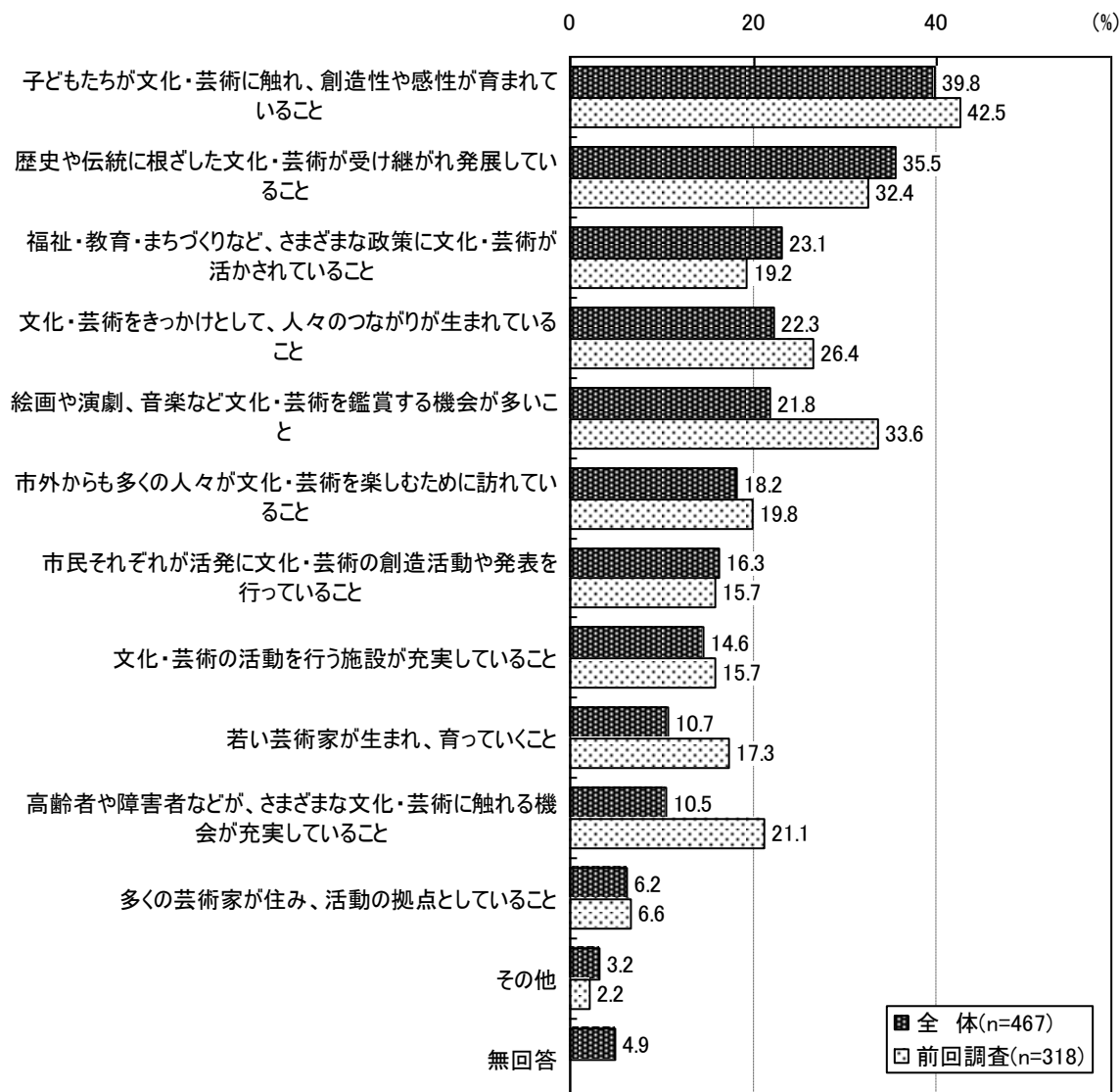


問15-2 統合した方がよいと思う理由はどうしてですか。(〇は3つまで)



○統合した方がよいと思う理由について、「財政的負担を減らすため」が91.3%と最も多くなっています。

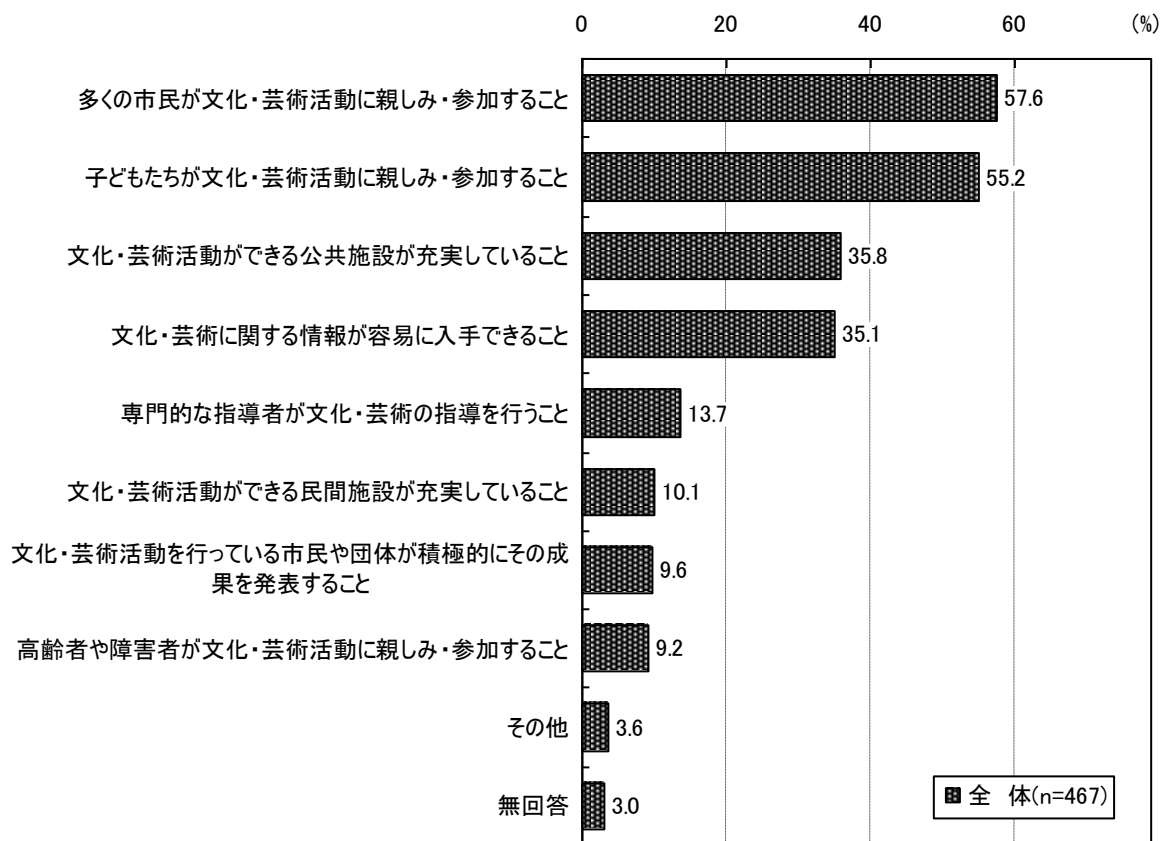
問16 「誰もが心豊かに暮らせる文化のまち岸和田」と聞いてどのようなイメージを感ずるか。(〇は3つまで)



○イメージするものについて、「子どもたちが文化・芸術に触れ、創造性や感性が育まれていること」が39.8%と最も多く、次いで「歴史や伝統に根ざした文化・芸術が受け継がれ発展していること」が35.5%、「福祉・教育・まちづくりなど、さまざまな政策に文化・芸術が活かされていること」が23.1%、「文化・芸術をきっかけとして、人々のつながりが生まれていること」が22.3%などと続いています。

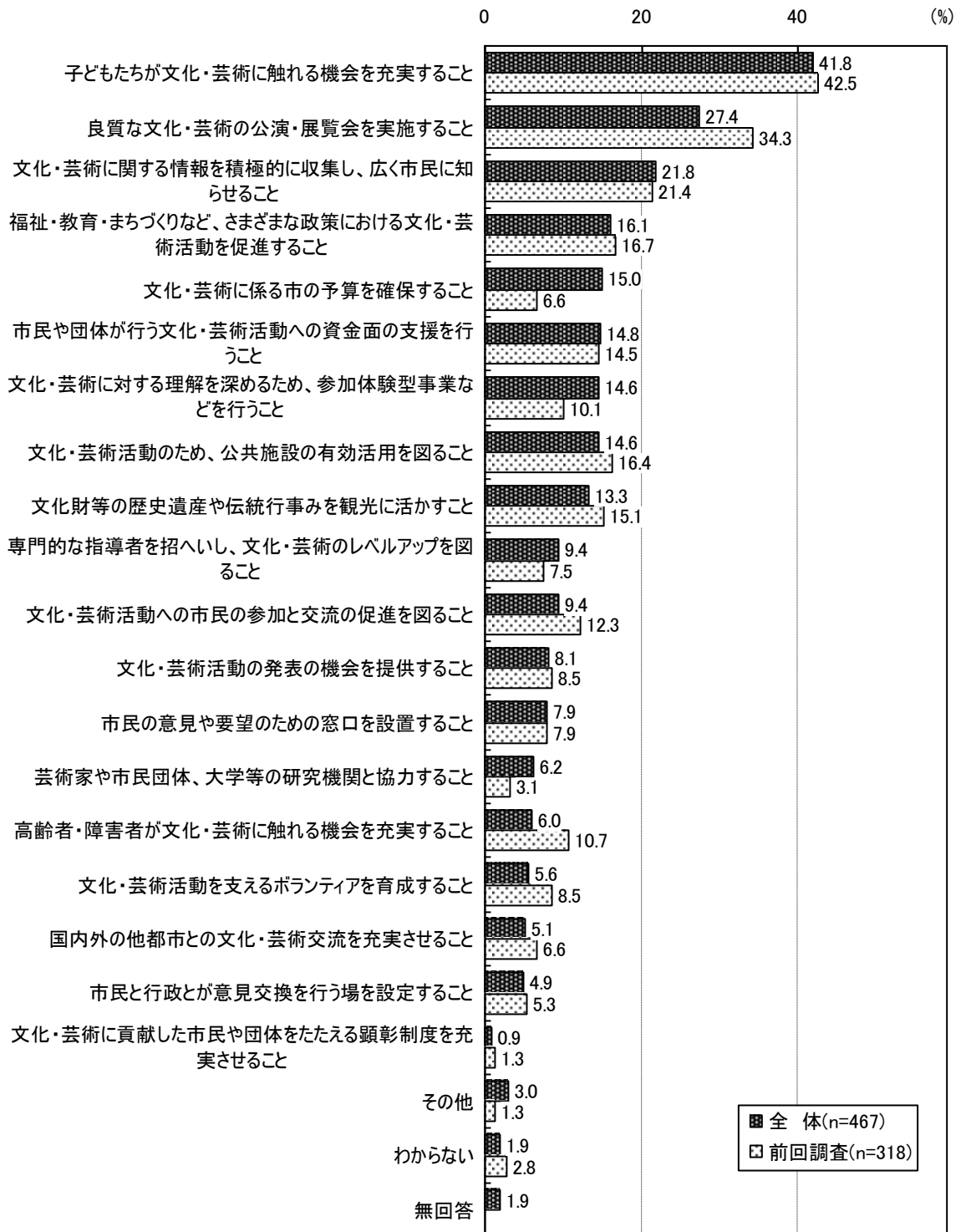
○前回調査と比較すると、「絵画や演劇、音楽など文化・芸術を鑑賞する機会が多いこと」や「高齢者や障害者などが、さまざまな文化・芸術に触れる機会が充実していること」などで大きく減少しており、「歴史や伝統に根ざした文化・芸術が受け継がれ発展していること」や「福祉・教育・まちづくりなど、さまざまな政策に文化・芸術が活かされていること」などで増加する結果となっています。

問17 文化・芸術の振興のために、何が重要なことだと思いますか。(〇は3つまで)



○文化・芸術の振興のために重要なことについて、「多くの市民が文化・芸術活動に親しみ・参加すること」が57.6%と最も多く、次いで「子どもたちが文化・芸術活動に親しみ・参加すること」が55.2%、「文化・芸術活動ができる公共施設が充実していること」が35.8%、「文化・芸術に関する情報が容易に入手できること」が35.1%などと続いています。

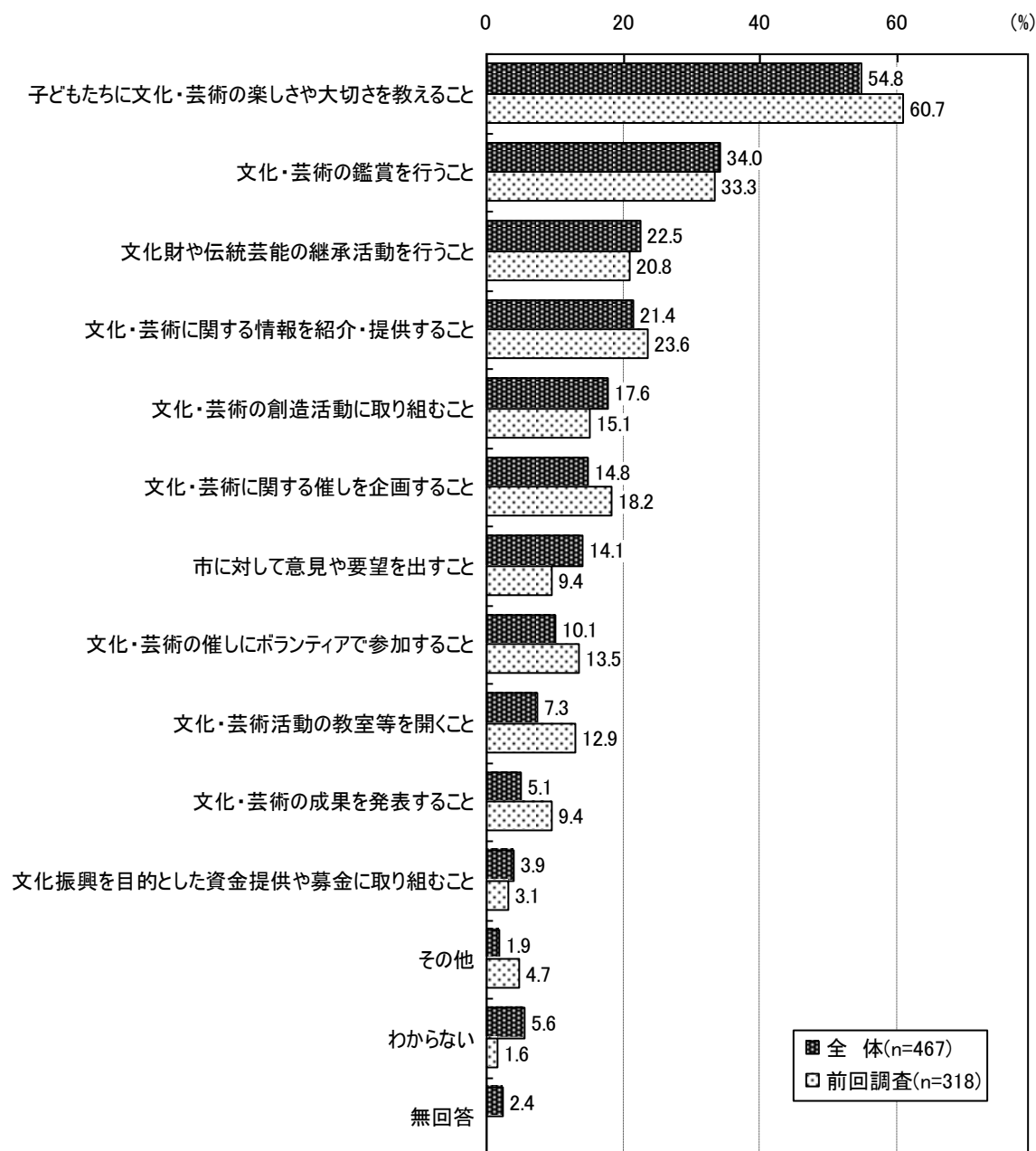
問18 文化・芸術の振興のために、行政（岸和田市）は、どのようなことをすべきだと思いますか。（〇は3つまで）



○文化・芸術の振興のために行政がすべきことについて、「子どもたちが文化・芸術に触れる機会を充実すること」が41.8%と最も多く、次いで「良質な文化・芸術の公演・展覧会を実施すること」が27.4%などと続いています。

○前回調査と比較すると、「文化・芸術に係る市の予算を確保すること」が増加し、「高齢者・障害者が文化・芸術に触れる機会を充実すること」が減少する結果となっています。

問19 文化・芸術の振興のために、市民は、どのようなことをすべきだと思いますか。(〇は3つまで)



○文化・芸術の振興のために市民がすべきことについて、「子どもたちに文化・芸術の楽しさや大切さを教えること」が54.8%と最も多く、次いで「文化・芸術の鑑賞を行うこと」が34.0%などと続いています。

# 岸和田市の文化団体における芸術分野 の取組みに関するアンケート調査 集計結果

## 1 アンケート調査の概要

### ① 調査目的

平成27(2015)年9月に策定した「文化 花 咲かそう推進プラン-岸和田市文化振興計画-」が終期を迎えるにあたり、市内で活動を展開している文化団体の状況と意向を把握し、次期計画の策定に活かしていくために実施しました。

### ② 実施方法

岸和田市内で活動を展開している文化団体から190団体を抽出し、調査票を配布、郵送にて回収。

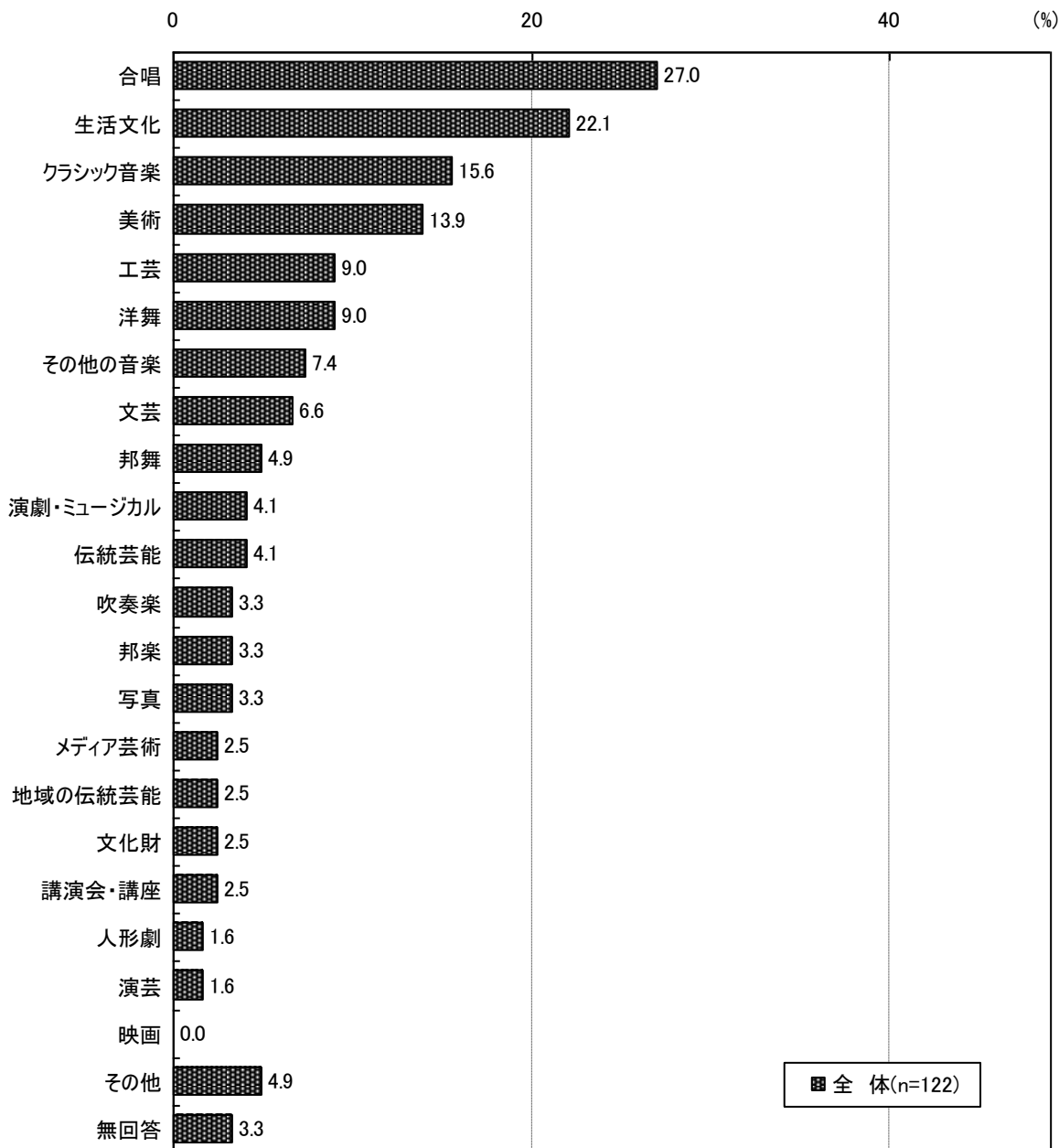
令和4(2022)年8月1日～8月31日を調査期間とし、10月14日回収分をもって締め切り。

### ③ 回収状況

調査対象	配布数	回答数	回答率
市内の文化団体	190	122	64.2%

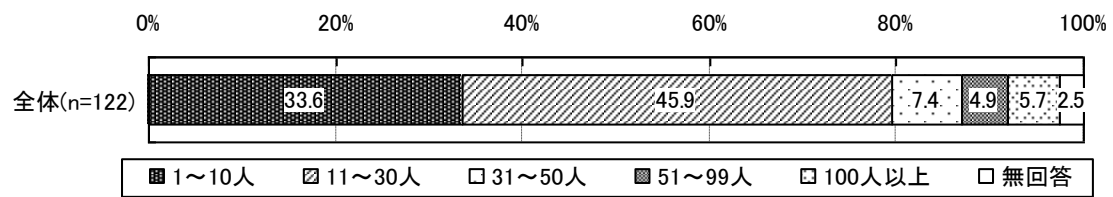
## 2 集計結果

問1 団体の活動分野について、次の中から選びください。(〇はいくつでも)



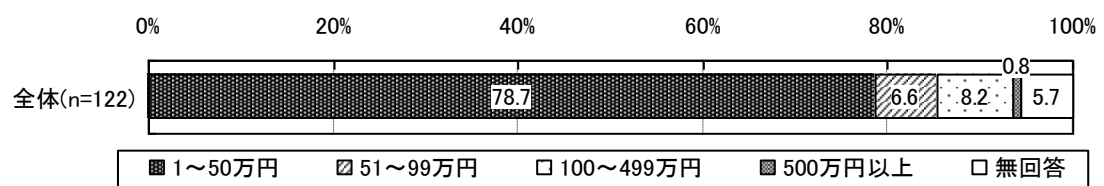
○団体の活動分野について、「合唱」が27.0%と最も多く、次いで「生活文化」が22.1%、「クラシック音楽」が15.6%、「美術」が13.9%などと続いています。

問2 団体の構成人数についてお聞かせください。(〇はひとつだけ)



○構成人数は「11~30人」が45.9%と最も多く、次いで「1~10人」が33.6%となっています。

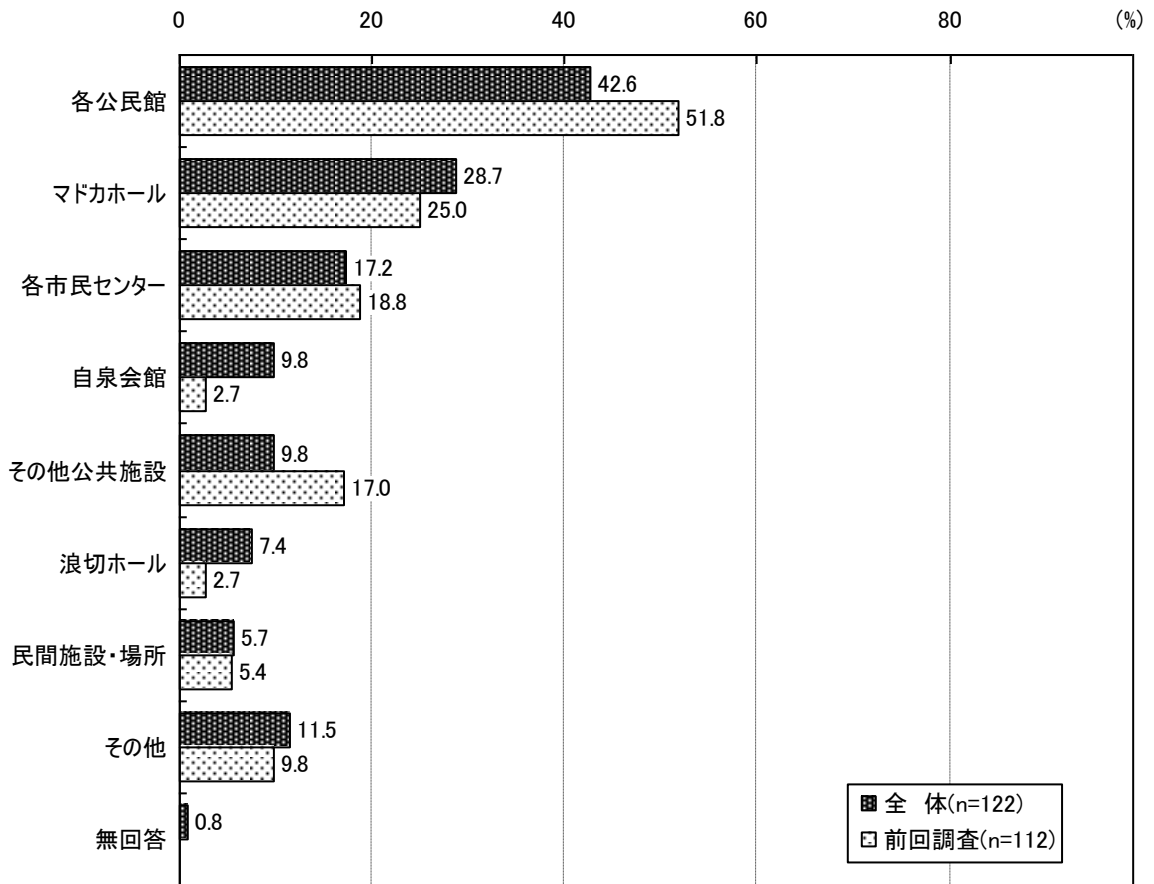
問3 年間の活動資金についてお聞かせください。(〇はひとつだけ)



○年間の活動資金については「1~50万円」が78.7%を占めています。

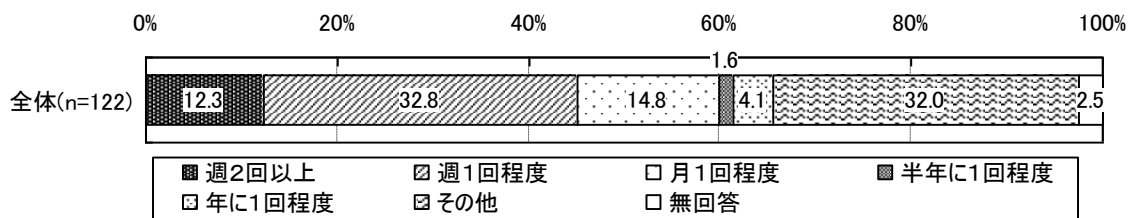


問4 日常の練習や創作など、活動場所として主に利用している施設をお聞かせください。(〇はいくつでも)



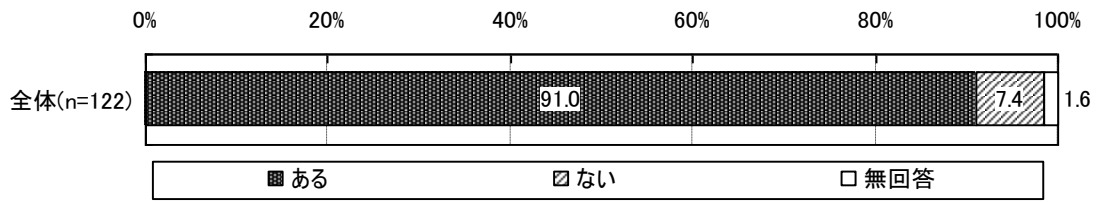
- 主に利用している施設について、「各公民館」が42.6%と最も多く、次いで「マドカホール」が28.7%、「各市民センター」が17.2%などと続いています。
- 前回調査と比較すると、「各公民館」や「その他公共施設」が減少し、「マドカホール」が増加する結果となっています。

問5 活動場所として施設を利用している回数についてお聞かせください。(〇はひとつだけ)



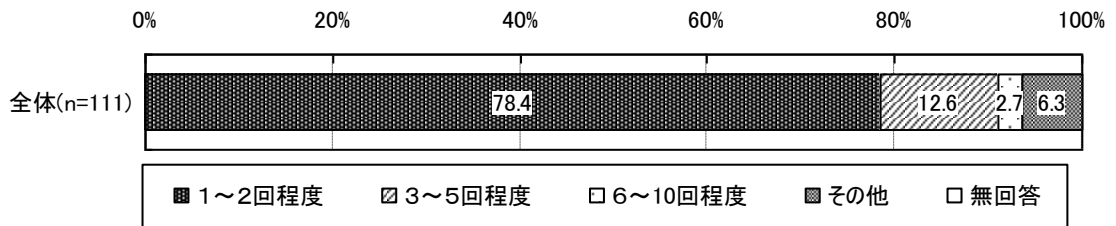
- 施設の利用回数について、「週1回程度」が32.8%と最も多く、次いで「その他」が32.0%となっています。

**問6 団体の活動成果を市民等に発表する機会がありますか。(〇はひとつだけ)**



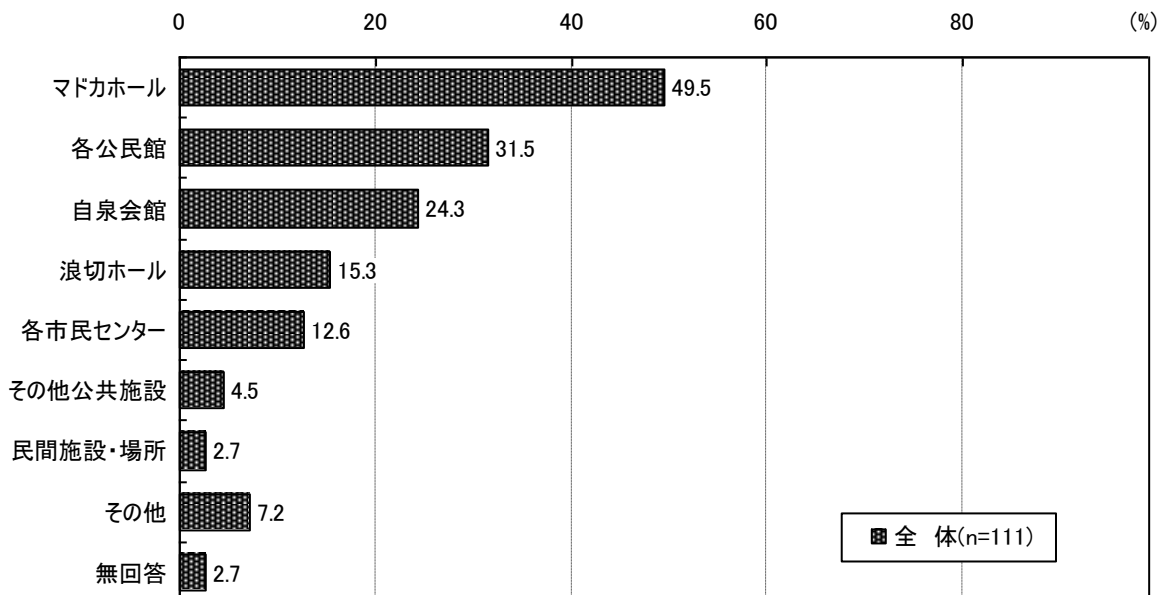
○活動成果の発表機会について、「ある」が91.0%を占めています。

**問6-1 団体の活動成果を市民等に発表する機会は、年に何回ありますか。(〇はひとつだけ)**



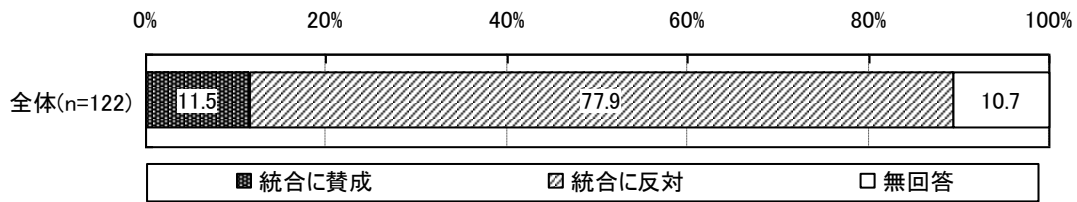
○創造活動を行っている施設について、「1~2回程度」が78.4%と最も多く、次いで「3~5回程度」が12.6%となっています。

**問6-2 団体の活動成果を発表する場所として、主に利用している施設・場所またはその他の機会をお聞かせください。(〇はいくつでも)**



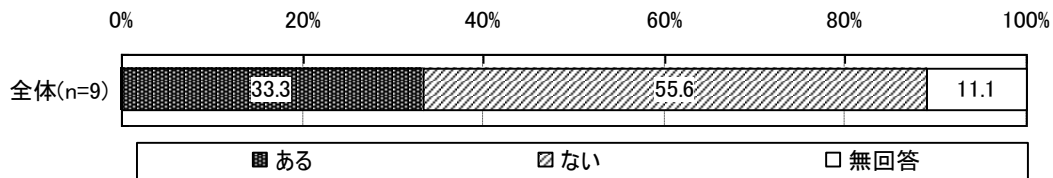
○活動成果を発表する場所について、「マドカホール」が49.5%と最も多く、次いで「各公民館」が31.5%、「自泉会館」が24.3%などとなっています。

問7 公共施設の文化施設（マドカホールと浪切ホール）を統合した方がいいと思いますか。（○はひとつだけ）



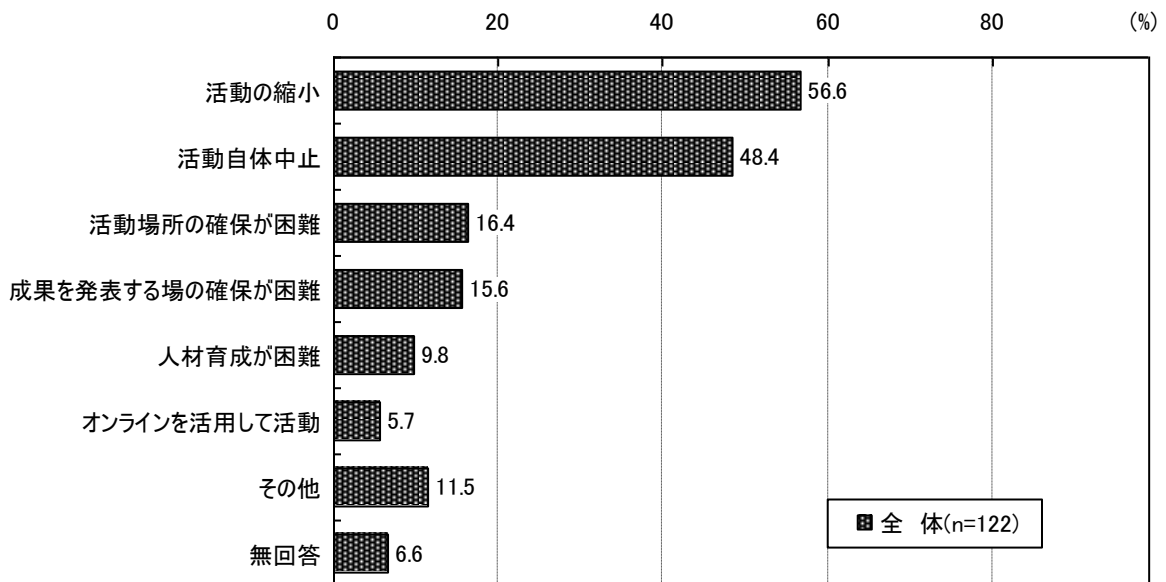
○文化施設の統合について、「統合に反対」が77.9%を占めています。

問8 （問6で「ない」と回答した団体）団体の活動成果を市民等に発表する機会の必要性があると考えますか。（○はひとつだけ）



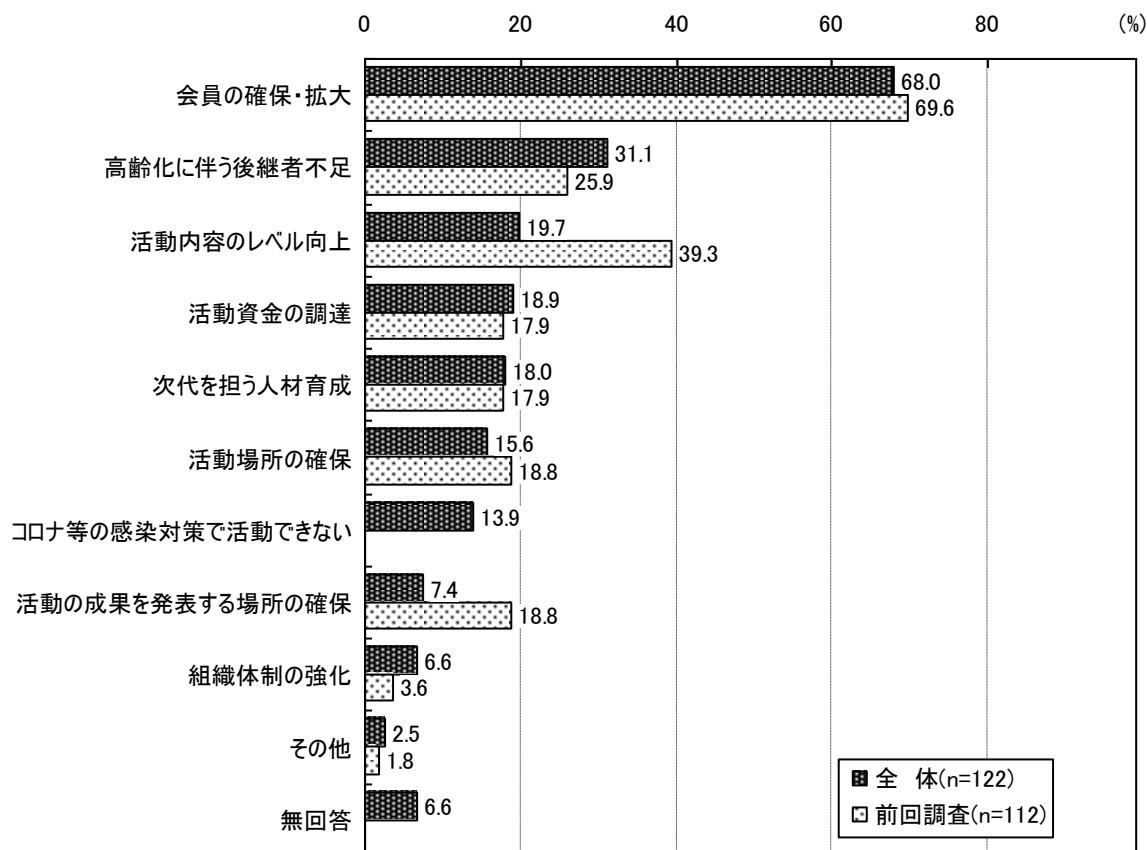
○発表する機会の必要性について、「ない」が55.6%を占めています。

問9 コロナで活動にどのような影響や変化がありましたか。（○は3つまで）



○コロナによる活動への影響について、「活動の縮小」が56.6%と最も多く、次いで「活動自体中止」が48.4%などとなっています。

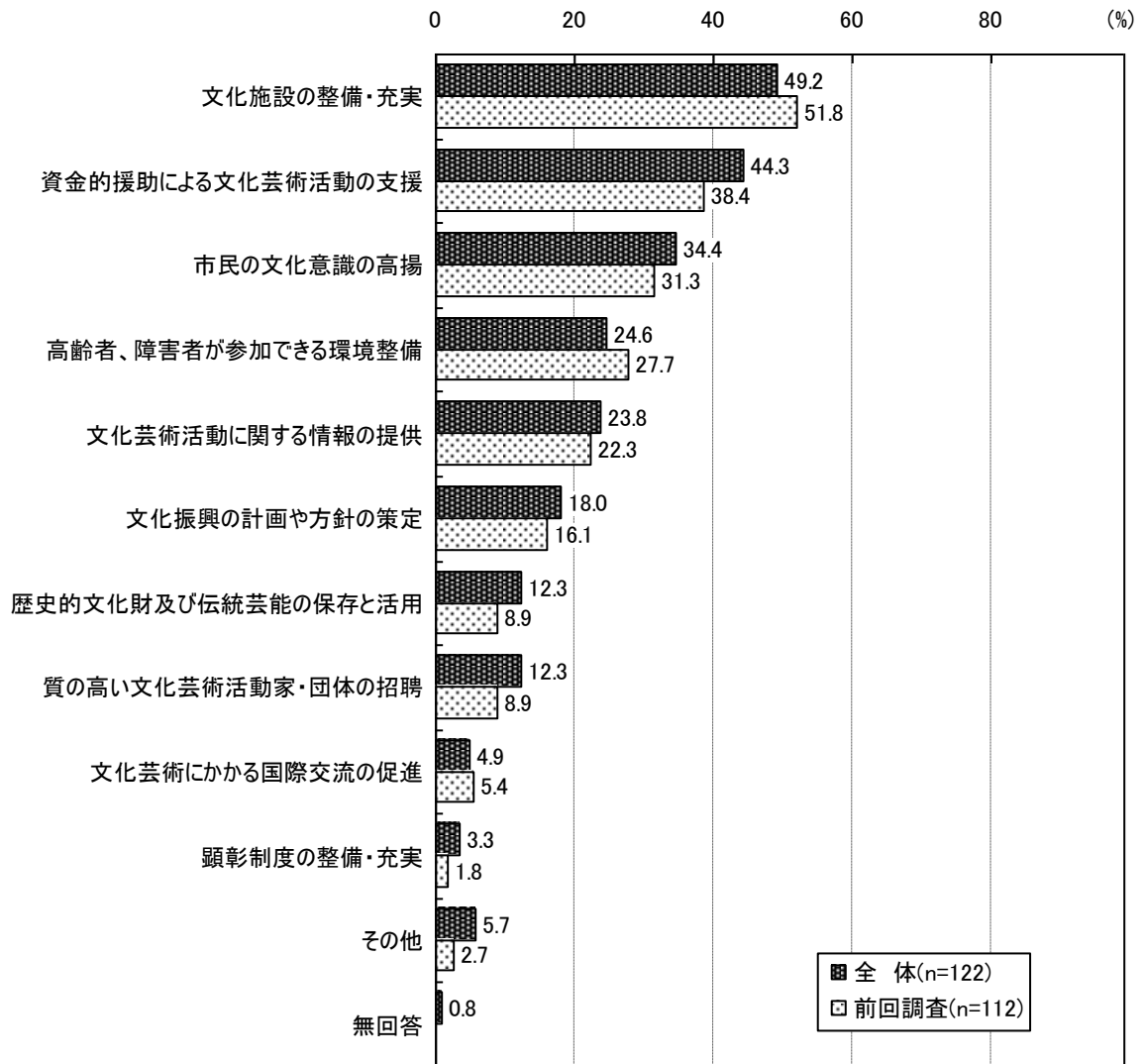
問10 団体の活動を行っていくにあたり、どのような課題をお持ちですか。(〇は3つまで)



○活動を行っていくうえでの課題について、「会員の確保・拡大」が68.0%と最も多く、次いで「高齢化に伴う後継者不足」が31.1%、「活動内容のレベル向上」が19.7%などとなっています。

○前回調査と比較すると、「活動内容のレベル向上」や「活動の成果を発表する場所の確保」が減少し、「高齢化に伴う後継者不足」が増加する結果となっています。

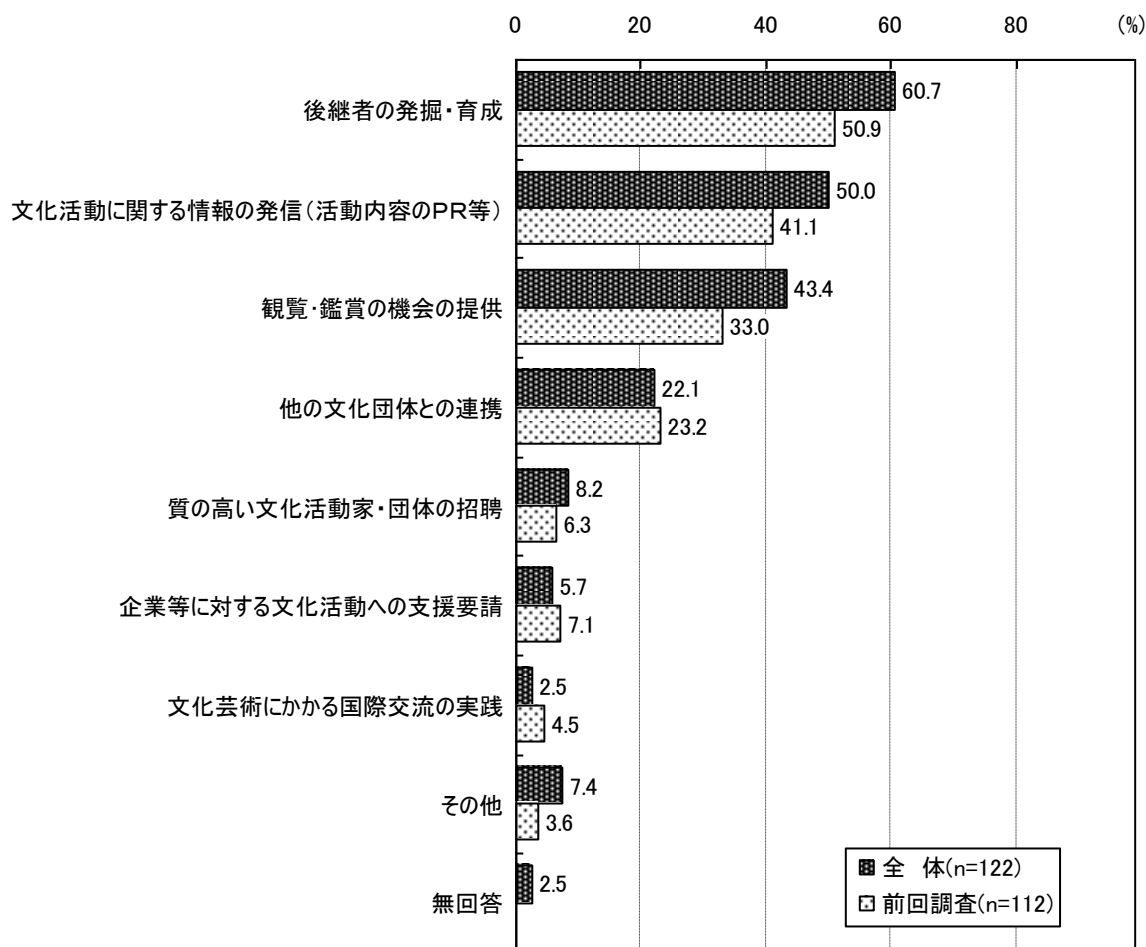
問11 団体の活動を行っていくにあたり、市が行うものとして何が大切だとお考えでしょうか。  
(〇は3つまで)



○団体活動を行っていくうえで市が行うべきものについて、「文化施設の整備・充実」が49.2%と最も多く、次いで「資金的援助による文化芸術活動の支援」が44.3%、「市民の文化意識の高揚」が34.4%などと続いています。

○前回調査と比較すると、「資金的援助による文化芸術活動の支援」などが増加する結果となっています。

問12 団体の活動を行っていくにあたり、団体自らが行うものとして何が大切だとお考えでしょうか。(〇は3つまで)



- 団体活動を行っていくうえで団体自らが行うべきものについて、「後継者の発掘・育成」が60.7%と最も多く、次いで「文化活動に関する情報の発信(活動内容のPR等)」が50.0%、「観覧・鑑賞の機会の提供」が43.4%などと続いています。
- 前回調査と比較すると、上位3つの項目すべてにおいて増加する結果となっています。